Panasonic®

別冊 取扱説明書

ファクス親機

品番 KX-PW503（ケイエックス ピーダブリュー）

本書の前に、**共通編** をお読みください

■安全上のご注意、ご使用前の準備、困ったときの対処方法などは「共通編」に記載していますので、必ずお読みください。

お問い合わせの多い機能を探しやすくしました。

ファクスの便利な受けかた

迷惑電話対策

迷惑電話をどうにかしたい！

もっと便利に使うには

（詳しいもくじは次ページへ）

使いこなしのポイント

34 ページ

かかってきた相手を確認するには？

〈ナンバー・ディスプレイ〉

● 電話帳に登録した相手なら、名前も分かる。

18

かんたんに電話やファクスするには？

〈電話帳〉

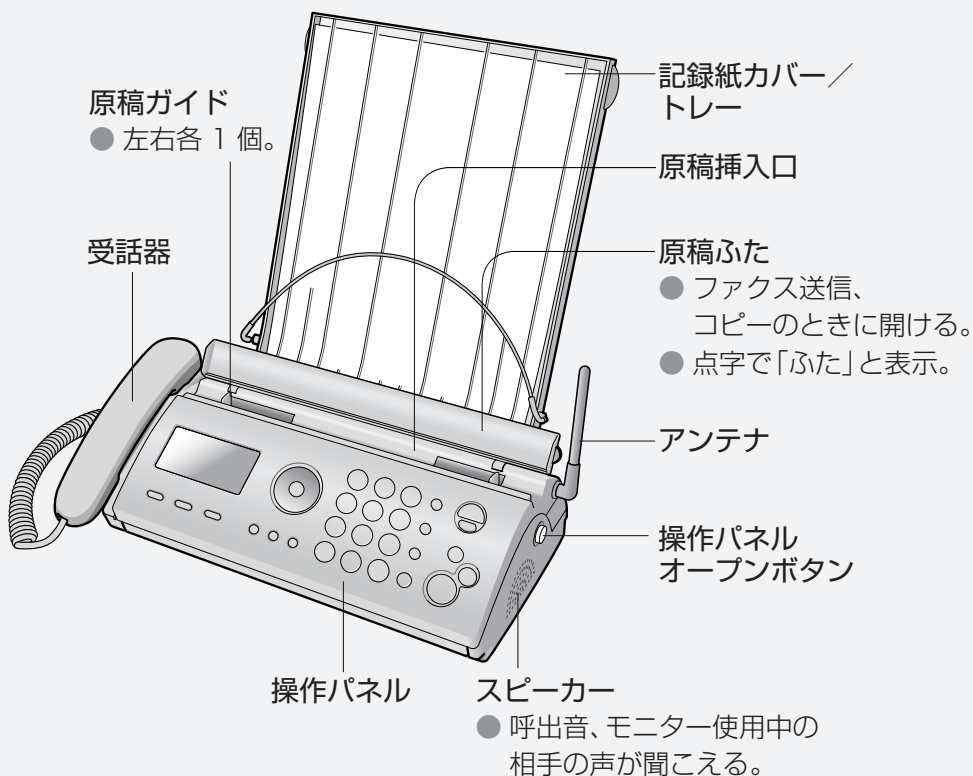
● 登録は、150 件まで。
● かけるときは、名前を選んで受話器を取るだけ！

もくじ

なまえや機能の名称からページを探すときは「さくいん」が便利です。（☞ 52 ～ 53 ページ）

次の項目については、「共通編」をお読みください。

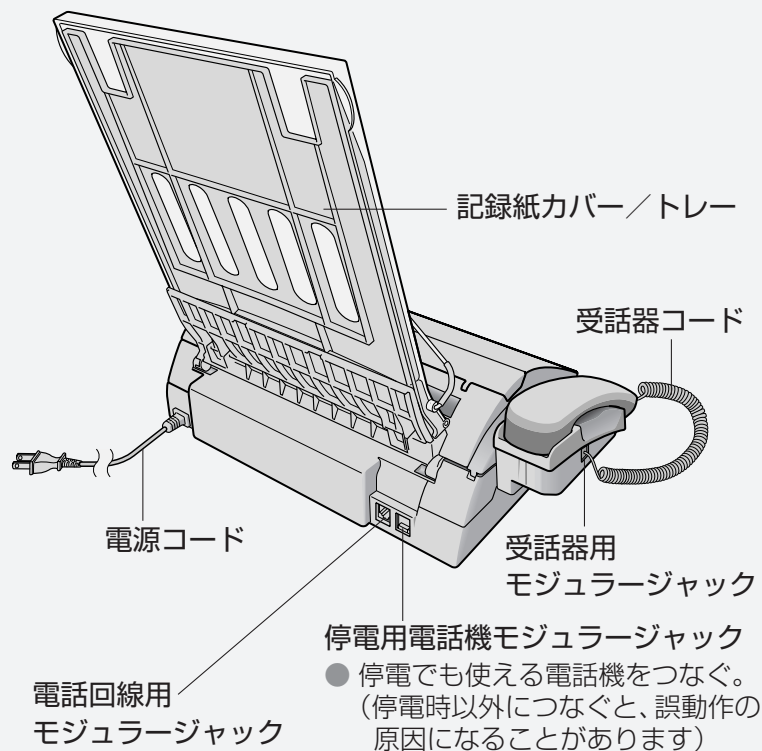
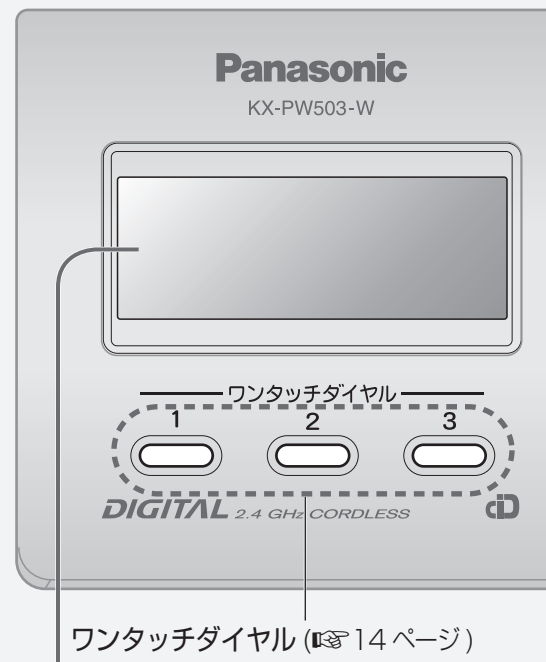
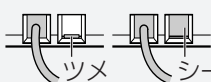
- 記録紙が詰まったとき
- 白や黒の線が入るとき
- 原稿が詰まったとき
- インクフィルムを交換する

各部のなまえとはたらき

マルチファンクションキー

● 本書では、キーの押しかたを下記のように表しています。

 右を押す

 上または下を押す

 決定を押す

ワンタッチダイヤル（☞14 ページ）

液晶ディスプレイ

- インクフィルム残量のめやす（☞ 右ページ）
- 文字入力時の文字の種類（☞16 ページ）
- メモリー残量のめやす（☞ 右ページ）
- 呼出音を鳴らさずにファクスを受ける設定をしているとき（☞25･26 ページ）

■ 液晶ディスプレイのバックライトについて

● ファクス親機を操作したときなどに点灯します。

● 用件録音･通話録音･ファクスのメモリーがいっぱいになったときなど、お知らせがあるときにも点灯します。（ファクス親機を操作すると、操作終了後に自動的に消灯します）

■メモリー/インクフィルム残量のめやす

残量表示		(表示なし)			
メモリー残	留守番電話に録音できる時間	0	6分以下	6～12分	12～18分
メモリー残	ファクスを受信できる枚数	0	16枚以下	32枚以下	46枚以下
インク残(印刷できる枚数)		0	12枚以下	60枚以下	90枚以下

● インクフィルム残量
- 別売品(長さ約 30 m)のインクフィルムを使う場合のめやすを表示します。(付属のお試し用インクフィルムは短かいので、正しく表示されません)
- 表示させるには設定が必要です。(☞44 ページ)

● メモリー残量
録音件数が 50 件になると、なくなります。
(☞ 共通編「仕様」の「ファクス親機」欄)

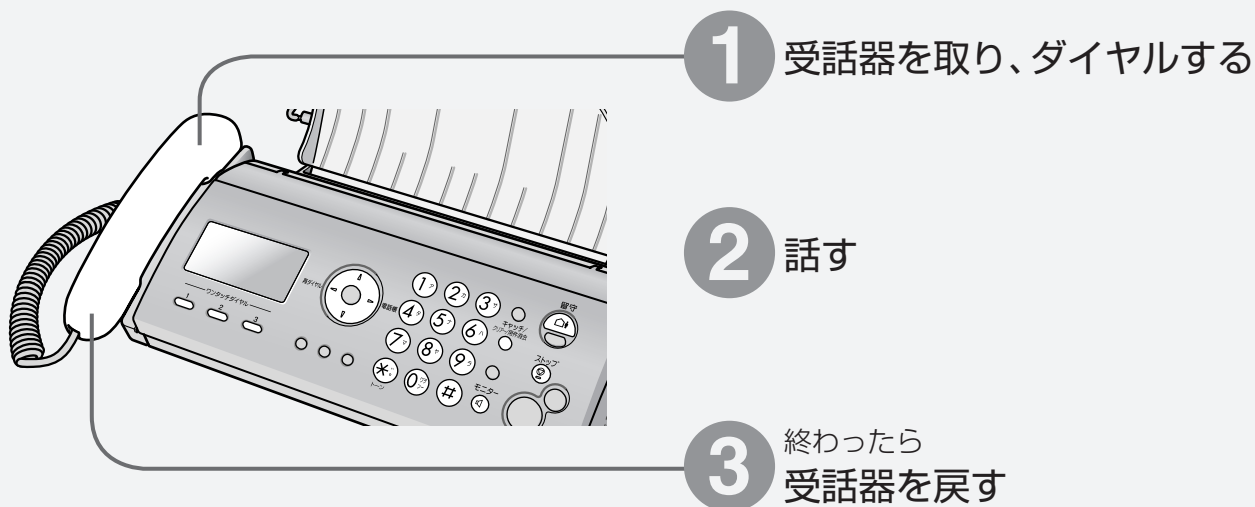
液晶ディスプレイは、説明のための画面例で、実際の表示とは異なります。

電話をかける／受ける

電話をかける（いろいろなかけかたは ☞ 右ページ）

1 受話器を取り、ダイヤルする

2 話す

3 終わったら
受話器を戻す

（お知らせ）

● 電話番号に 184 や 186 をつけてかけるとき（☞34 ページ）

①⑧④（または①⑧⑥）➡ 留守（ポーズ）➡ 電話番号 ➡ 取る

● 構内交換機に接続しているとき

外線発信番号 ➡ 留守（ポーズ）➡ 電話番号 ➡ 取る

● ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するとき

相手につながったあと ⊛（トーン）押す

● 表示はめやすであり、実際の通話時間とは異なる場合があります。
通話料金は、相手が電話に出てからかかります。

ｼﾞｶﾝ 0:01:30
0987654321
←通話時間（めやす）

電話を受ける

1 受話器を取り、話す

2 終わったら
受話器を戻す

● 電話に出ても「ポーポー」音や無音のときは、ファクスが送られてきています。（☞24 ページ）

同じ相手にもう一度かける （再ダイヤル） ● 10 件まで記憶。	再ダイヤル 押す ➡ 押して **相手を選び** ➡ **取る** ■ 再ダイヤルの履歴を消去するには （再ダイヤル）➡ 相手を選び ➡ キャッチ/クリアー/用件消去 ➡ ✳ ➡ ストップ
チケット予約など **電話を切らずにかけ直す** （かんたん再ダイヤル）	**相手にダイヤルする** ➡ つながらなかったら 押す
電話帳でかける	電話帳 押す ➡ 押して **相手を選び** ➡ **取る** ● 登録は（☞18 ページ）
ワンタッチダイヤルでかける	1 ～ 3 押す ➡ **相手が出たら、** **取る** ● 登録は（☞14 ページ）
受話器を取らずにかける	モニター 押す ➡ ダイヤルする ➡ **相手と話すときは、** **取る** （モニター使用中は、こちらの声は聞こえません）

お知らせ

● 電話帳でかける相手を選ぶとき、名前の頭文字やグループから探せます。

- 名前の頭文字から探すとき　（電話帳）➡ 0 ～ 9 ➡ （選ぶ）
- グループから探すとき　（電話帳）➡ # ➡ 1 ～ 9 ➡ （選ぶ）

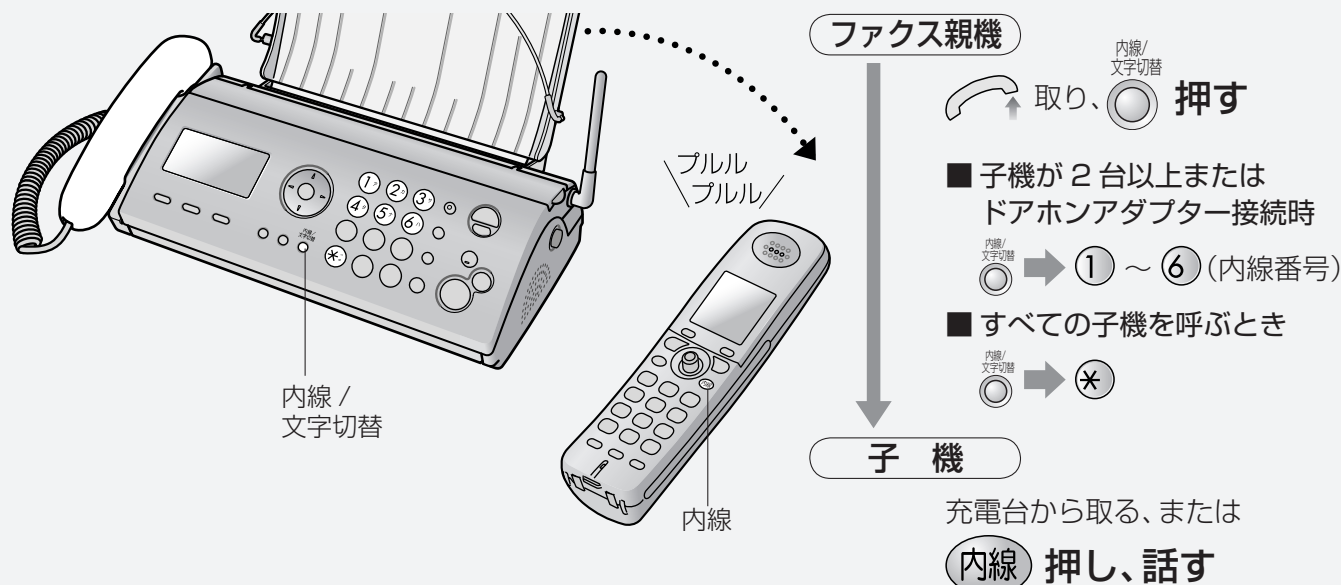
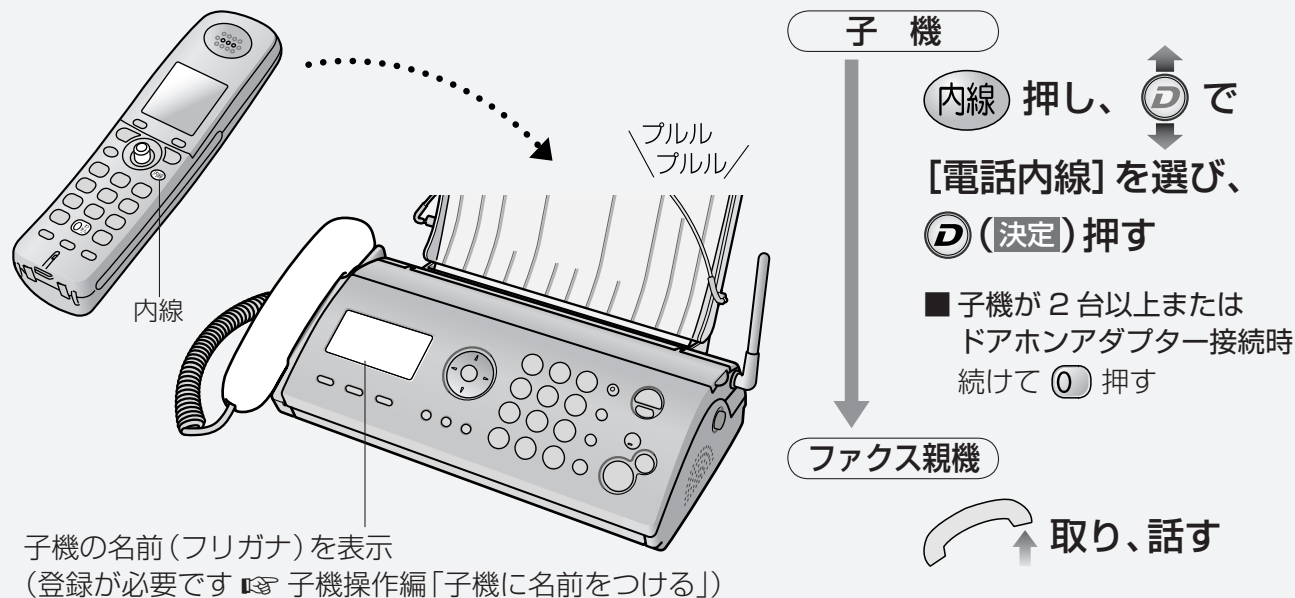
通話中の機能

受話音の大きさを変える	押して大きく 押して小さく ●詳しくは（☞41 ページ）
相手の声の音質を変える（ボイスセレクト）	ボイスセレクト 押す ●詳しくは（☞40 ページ）
相手に待ってもらう（保留）	保留／着信メモリー 押す（通話に戻るときは再度押す） ●保留中は相手にメロディ「曲名：愛の挨拶」（和音ではありません）が流れる。
キャッチホンを受ける（NTTとの契約が必要）	キャッチ／クリアー／用件消去 押す ■キャッチホンでファクスが来たとき 押す（元の相手との通話は切れる） ■元の相手との通話に戻るとき キャッチ／クリアー／用件消去 押す
通話を録音する（約18分まで） ●モニターの通話ではできません。	聞き直し／通話録音 押す ■録音をやめるとき ストップ 押す ■録音した通話を聞くとき 受話器を置いた状態で 押す ●再生後に消すとき ＊ 押す 残すとき ＃ 押す ●留守番電話の用件も同時に再生されます。 ●録音時間について（☞共通編「仕様」の「ファクス親機」欄）

子機と話す （電話内線通話）

付属の（電話機能が使える）子機と通話ができます。

● **ドアホン親機や別売のドアホン専用子機とは、通話できません。**

ファクス親機から子機へ

子機からファクス親機へ

■**通話中に電話がかかってきたら**

呼出音（ベル 1 ☞41 ページ）が聞こえる。

<話すには> 受話器を戻してから取る。（外線につながる）

■**通話を切るには** 戻す

■**電話機能が使える子機が 2 台以上あるとき**

● 子機同士での電話内線通話もできます。（ ☞ 子機操作編「電話内線通話」）

● 子機同士で通話中に、ファクス親機で電話を受けることやファクス・コピーはできません。
（電話をかけることはできます）

お知らせ

● 子機から電話内線通話をするときなど、子機側の操作について詳しくは（ ☞ 子機操作編「電話内線通話」）

電話をまわす

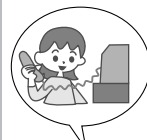
付属の（電話機能が使える）子機との間で、電話をまわせます。

● **ドアホン親機や別売のドアホン専用子機に、電話をまわすことはできません。**

ファクス親機から
子機へ

ファクス親機側

通話中 **子機を呼び出す**

内線/文字切替 押す

● 子機が 2 台以上または
ドアホンアダプター接続時
内線/文字切替 ➡ ①～⑥
（内線番号）

子機側

■まわす相手が出ないとき

■まわす相手が近くにいるとき

■簡単取り次ぎ「入」のとき
（設定は ☞44 ページ）

子機から
ファクス親機へ

子機側

通話中 **ファクス親機を呼び出す**

内線 押す

● 子機が 2 台以上または
ドアホンアダプター接続時
内線 ➡ 0

ファクス親機側

■まわす相手が近くにいるとき

■簡単取り次ぎ「入」のとき
（設定は ☞44 ページ）

お知らせ

● 子機から電話をまわすときなど、
子機側の操作について詳しくは
（☞ 子機操作編「電話をまわす」）

内線/
文字切替 押す（通話に戻る）

〈ファクス親機〉保留/着信メモリー ➡ 戻し、まわしたい相手に声をかける ➡〈子機〉外線

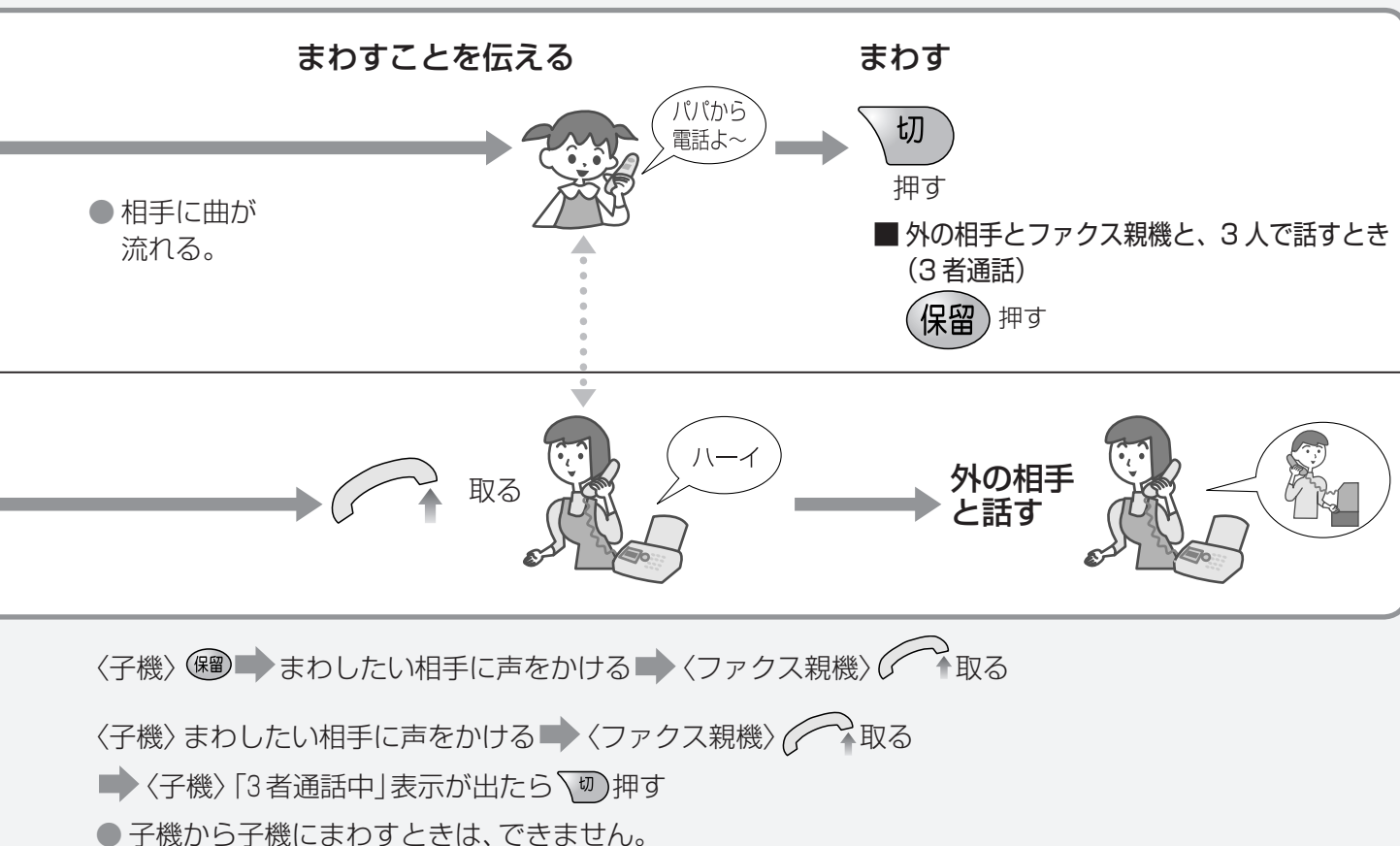
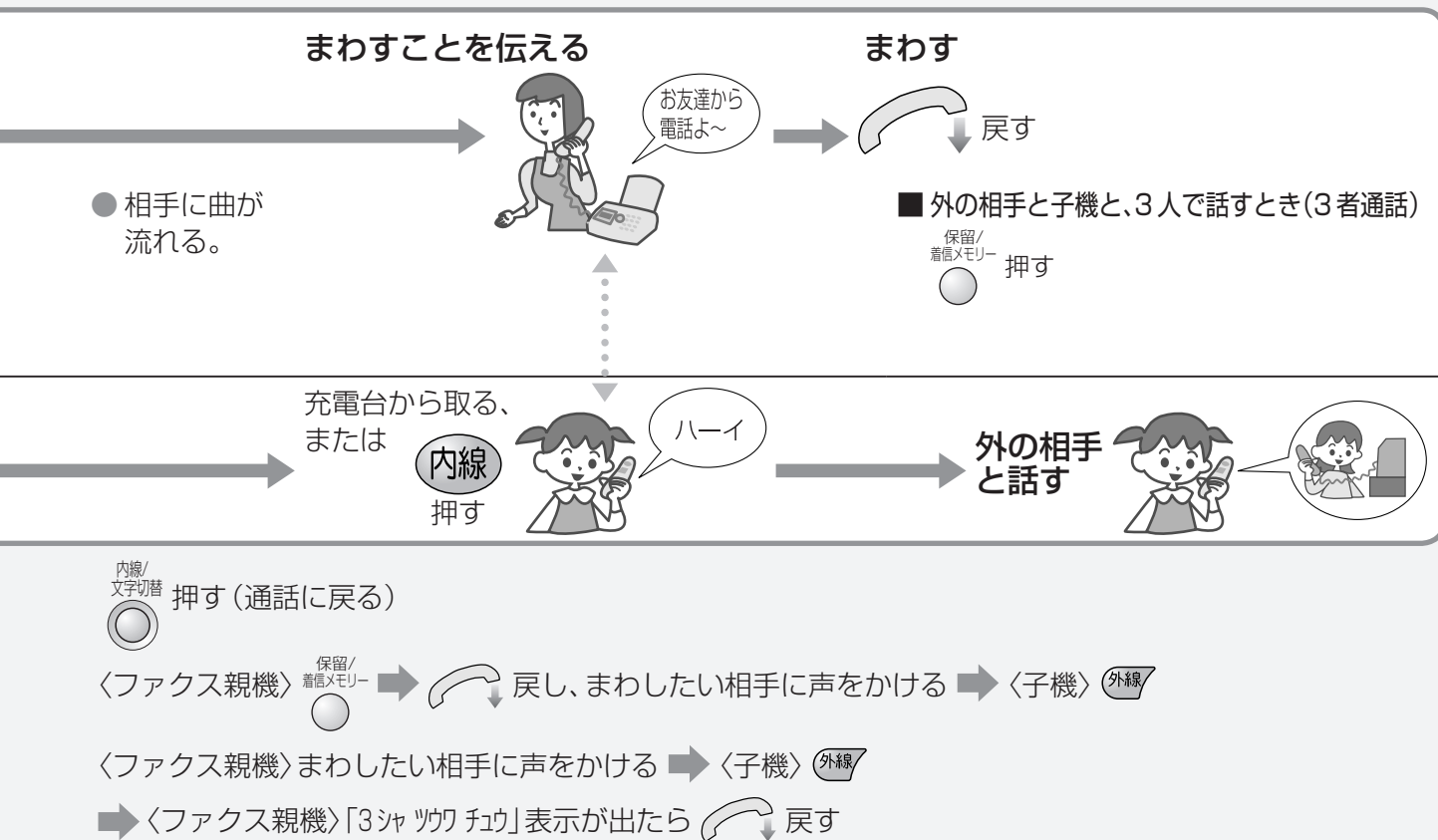
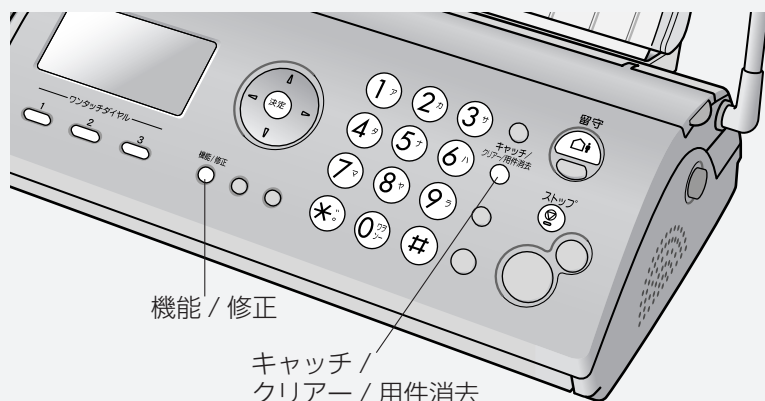
〈ファクス親機〉まわしたい相手に声をかける ➡〈子機〉外線

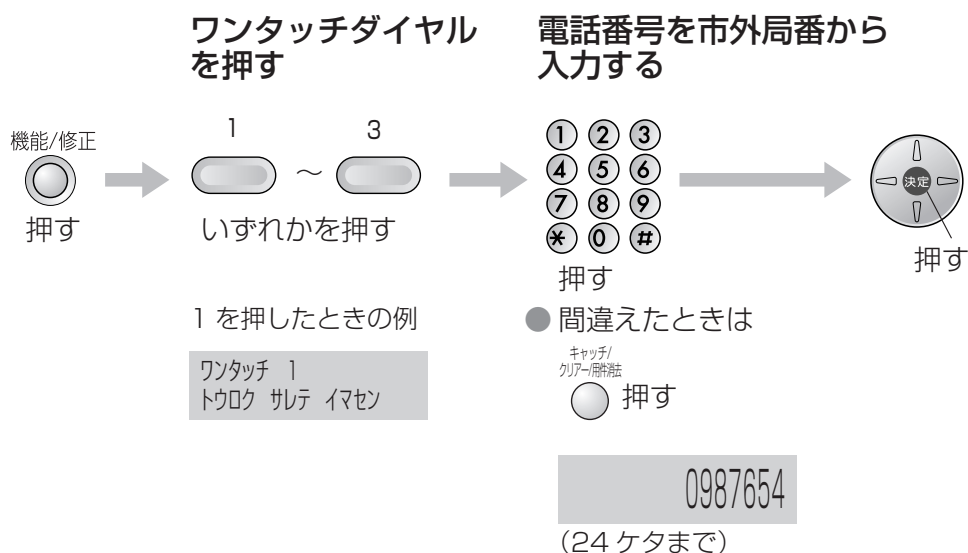
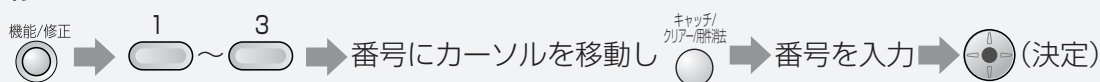
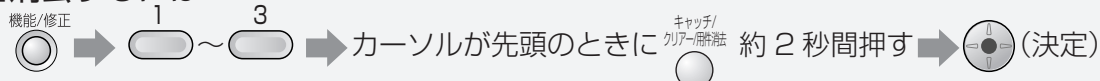
➡〈ファクス親機〉「3ｼｬ ﾂｳﾜ ﾁｭｳ」表示が出たら 戻す

〈子機〉保留 ➡ まわしたい相手に声をかける ➡〈ファクス親機〉取る

〈子機〉まわしたい相手に声をかける ➡〈ファクス親機〉取る

➡〈子機〉「3 者通話中」表示が出たら 切 押す

● 子機から子機にまわすときは、できません。

ワンタッチダイヤルに登録する

- ワンタッチダイヤルで、電話をかけるには(☞9 ページ)
- ワンタッチダイヤルで、ファクスを送るには(☞23 ページ)

■修正するには

■消去するには

■登録内容をプリントするには

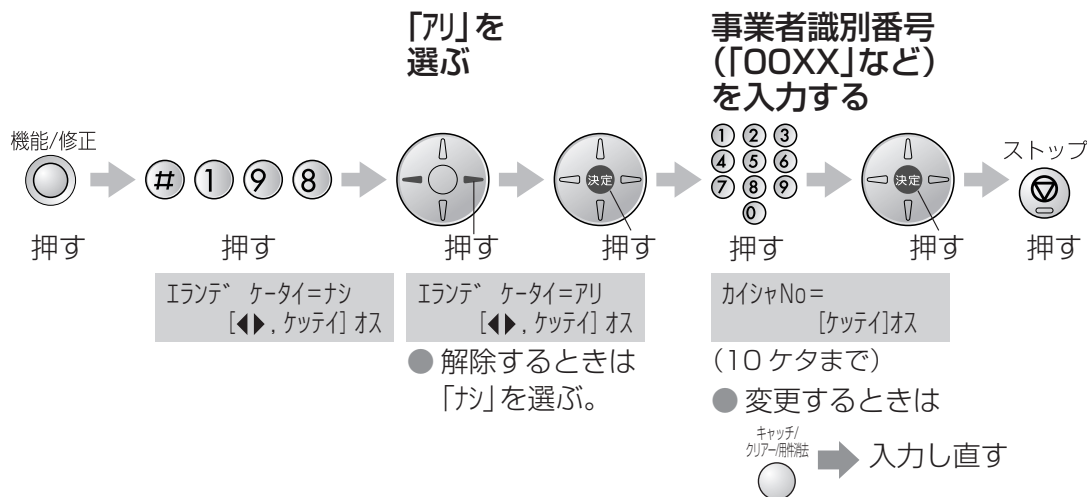
■途中でやめるとき ストップ 押す

(お知らせ)

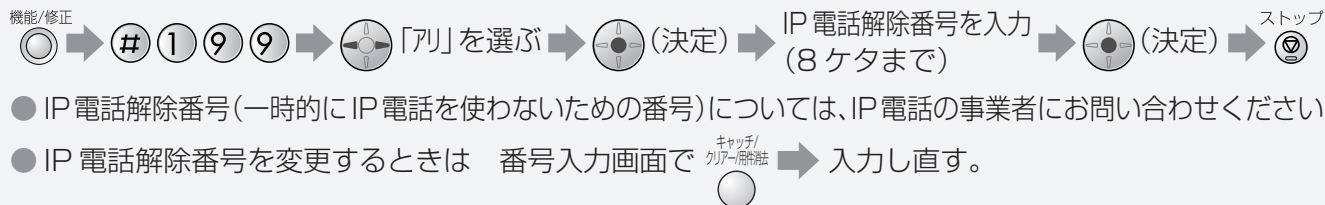
- 184 や 186 をつけて電話番号を入力するとき(☞34 ページ)
  ①⑧④(または①⑧⑥)のあとに留守(ポーズ)を入れる(ポーズを入れないと誤発信することがあります)

「選んでケータイ」を使う 固定電話発 携帯電話着 通話サービス

携帯電話へおトクにかけるサービスを利用するとき、登録しておくと便利です。
携帯電話に電話するとき、相手の電話番号の前に「00XX」などの固定電話会社の事業者識別番号を付けると、その電話会社の料金で通話できます。（2005 年 10 月現在）
ファクス親機で「00XX」を登録しておけば、ファクス親機や子機で携帯電話にダイヤルするとき、自動的に「00XX」を付けることができます。

事業者識別番号および、通話料金、サービス内容については、固定電話会社にお問い合わせください。

■IP 電話使用時、上記の設定をして携帯電話にかけられなくなったとき

● IP電話解除番号（一時的にIP電話を使わないための番号）については、IP電話の事業者にお問い合わせください。

● IP 電話解除番号を変更するときは　番号入力画面で キャッチ/クリアー/用件消去 ➡ 入力し直す。

お知らせ

- 電話をかけるとき、事業者識別番号「00XX」はディスプレイに表示されません。
- 電話をかけられないとき
  - 電話の回線種別を確認し、手動で設定し直してください。
  - 事業者識別番号を入力するとき識別番号のあとに 留守（ポーズ）を入力してお試しください。
  - 入力してもかけられないときは、固定電話や IP 電話の各事業者にお問い合わせください。
- 「090」「080」から始まる電話番号のみに働きます。（「070」などには働きません）
- 通話料金は、利用した事業者から請求されます。
- 携帯電話番号の前に「1111」をダイヤルすると、一時的に事業者識別番号を付けずにかけることができます。

文字入力のしかた

● あなたの名前（☞ 共通編「名前や電話番号を登録する」）や電話帳（☞18ページ）を登録するときなどに使います。

文字の種類

カーソル（入力位置）

■間違えたときは（キャッチ／クリアー／用件消去）押す

こんなときは

■同じボタンの文字を続けて入力するには

例：アイ

ア ① ➡ （カーソルを右へ）➡ イ ①①

■カーソルを移動するには　押す

■途中で入力をやめるには　ストップ　押す

挿入・修正・消去するには

■挿入するには　挿入位置の次の文字にカーソルを移動し、文字を入力する。

■修正するには　修正する文字にカーソルを移動し、（キャッチ／クリアー／用件消去）押して消し、入力し直す。

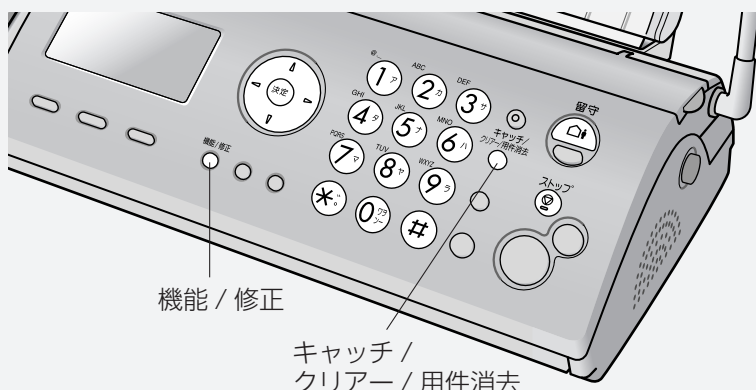
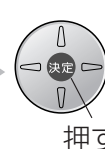
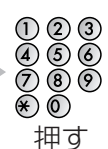
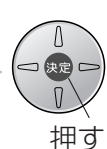
■消去するには　消去する文字にカーソルを移動し、（キャッチ／クリアー／用件消去）押す。

■すべて消去するには　文字の先頭にカーソルを移動し、（キャッチ／クリアー／用件消去）を約2秒間押す。

文字列一覧表

ボタン＼表示	カナ	英	数
1	アイウエオァィゥェォ	@ . _ - & $ ¥ % + = ˜ ^	1
2	カキクケコ	A B C a b c	2
3	サシスセソ	D E F d e f	3
4	タチツテトッ	G H I g h i	4
5	ナニヌネノ	J K L j k l	5
6	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
7	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
8	ヤユヨャュョ	T U V t u v	8
9	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
0	ワヲンー！？()	！？／ー＊＃，；：｜・’ ” （ ）［ ］｛ ｝〈 〉「 」	0
＊	゛（濁点）゜（半濁点）、。	、。	
保留/着信メモリー	スペース		

● 一覧表の文字とディスプレイの文字は形が異なることがあります。
● 文字数には、スペースも含まれます。

電話帳に登録する

- 電話帳で電話をかけるには（☞9 ページ）
  電話帳でファクスを送るには（☞23 ページ）
- 登録済みの相手先を、子機に転送するには（☞20 ページ）

お知らせ

- 184 や 186 をつけて電話番号を入力するとき（☞34 ページ）
  ①⑧④（または ①⑧⑥）のあとに 留守（ポーズ）を入れる（ポーズを入れないと誤発信することがあります）
- 時報（117）、天気予報（177）、電報（115）、番号案内（104）がすでに登録されています。（修正･消去できます）

■途中でやめるとき

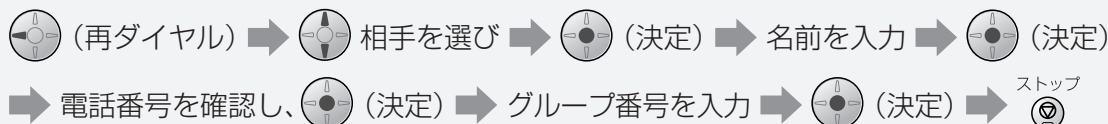
ストップ 押す

■登録を確認するには

（電話帳） ➡ （順に表示） ➡ ストップ

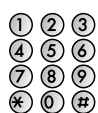
- を押すと、次の名前順に表示されます。
  数字（小さい順）→アルファベット（A ～ Z）→カナ（ア～ン）→記号→電話番号（名前登録なし）
- よくかける相手を先に表示させたいときは、名前の前に数字をつけて登録すると（例：「001 ナカムラ」「002 イイヅカ」…）、数字の小さい順に表示されます。

■再ダイヤルから登録するには

（再ダイヤル） ➡ 相手を選び ➡ （決定） ➡ 名前を入力 ➡ （決定）
➡ 電話番号を確認し、（決定） ➡ グループ番号を入力 ➡ （決定） ➡ ストップ

1 ～ 9 のグループ番号をつけて登録すると

グループ別に相手を探して電話をかけたり(☞9 ページ)、ナンバー･ディスプレイサービスを利用すれば、グループごとに呼出音を変えることができます。(☞37 ページ)

（続けて登録するとき）

電話番号を市外局番から入力する

押す → 押す

0987654

（24 ケタまで）

● 間違えたときは キャッチ/クリアー/用件消去 押す

グループ番号を入力する

1 ～ 9 押す → 押す → ストップ 押す

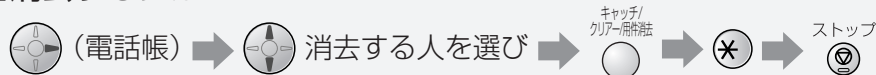
ｸﾞﾙｰﾌﾟ＝1
[1－9, ｹｯﾃｲ] ｵｽ

入力しないときは、グループ 1 になる

■修正するには

（電話帳）➡ 修正する人を選び ➡ 機能/修正 ➡ 名前を修正 ➡（決定）➡ 電話番号を修正 ➡（決定）➡ グループ番号を修正 ➡（決定）➡ ストップ

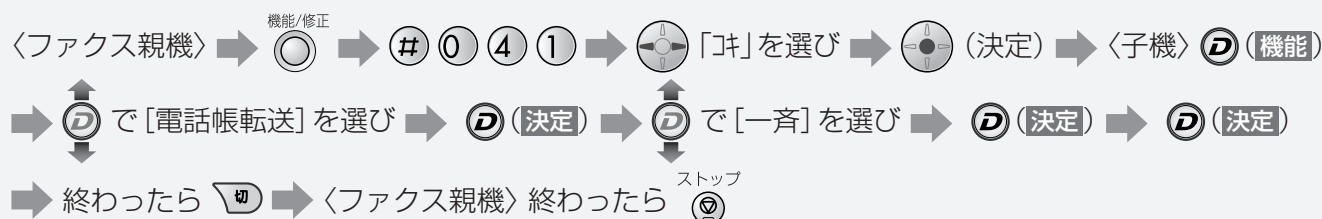
■消去するには

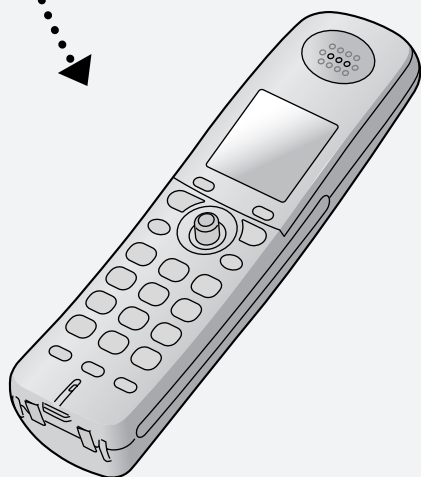
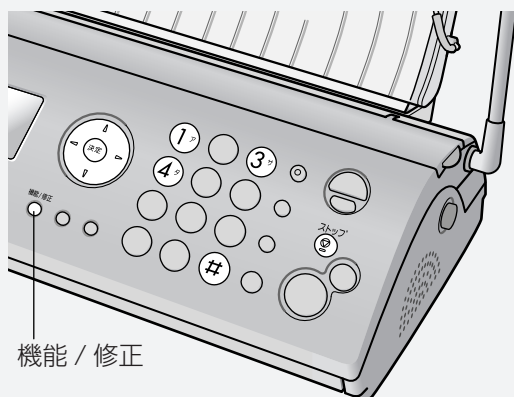
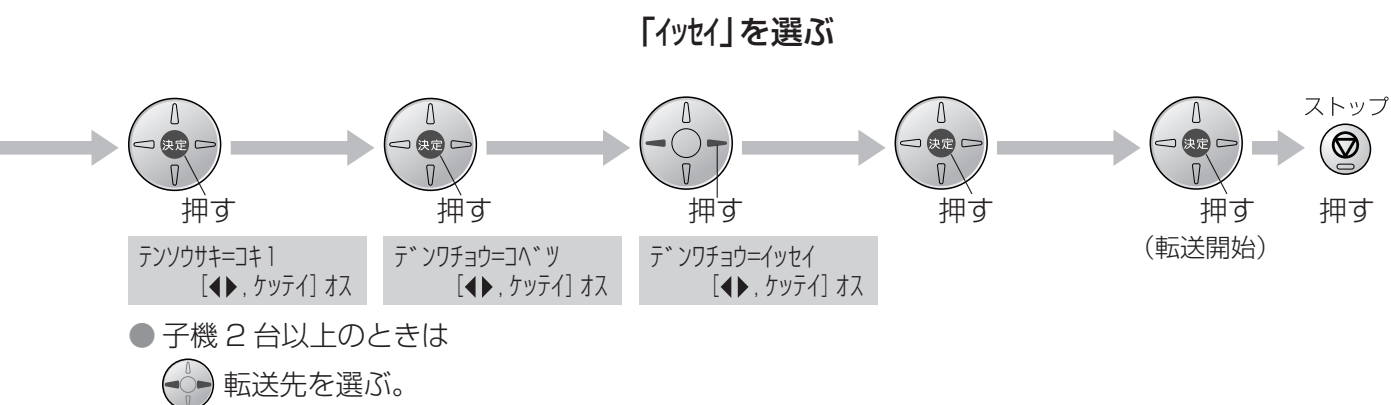
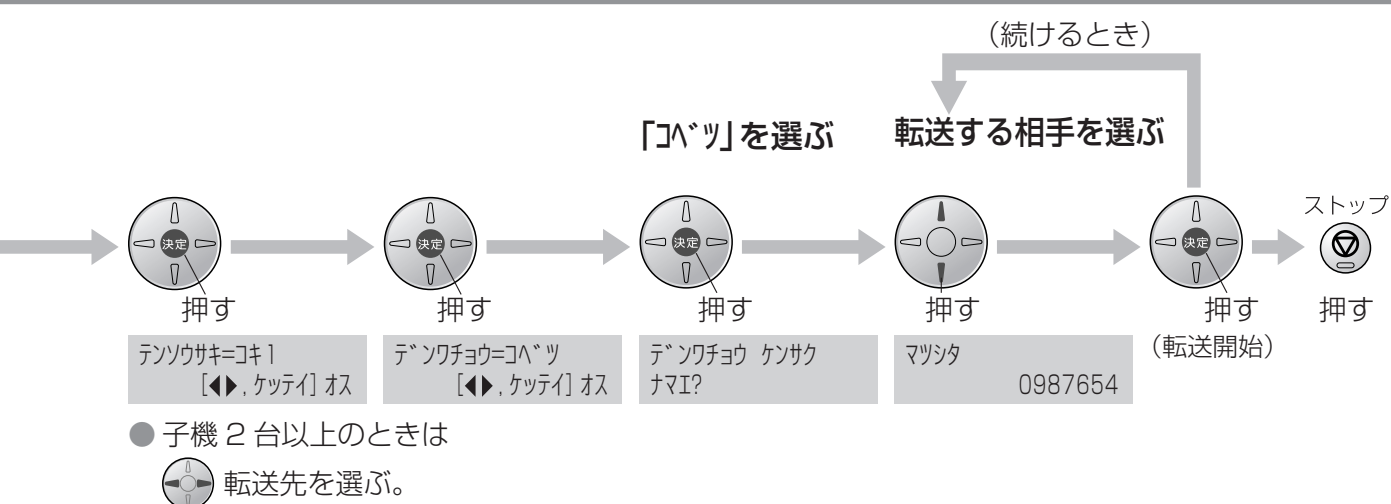
（電話帳）➡ 消去する人を選び ➡ キャッチ/クリアー/用件消去 ➡ ＊ ➡ ストップ

● すべてを消去するには（☞42 ページ「電話帳全消去」）

■登録内容をプリントするには

機能/修正 ➡ # 0 4 1 ➡（決定）➡ 終わったら ストップ

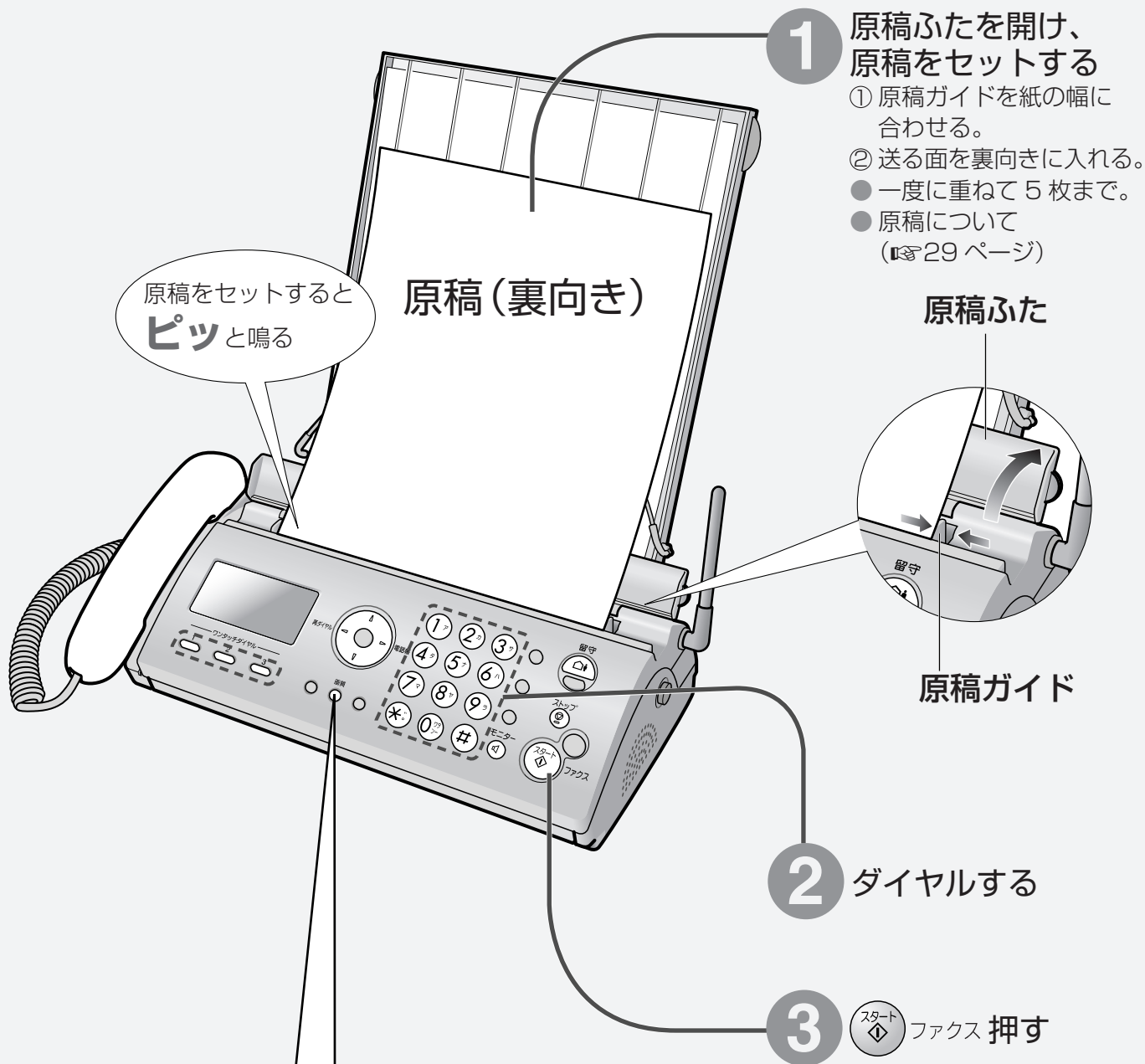
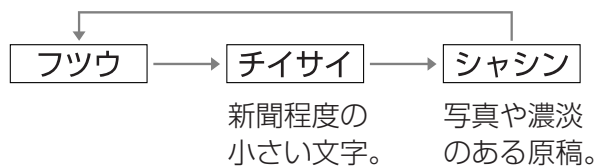
子機の登録内容をプリントするには

〈ファクス親機〉➡ 機能/修正 ➡ # 0 4 1 ➡「ｺｷ」を選び ➡（決定）➡〈子機〉（機能）➡ で [電話帳転送] を選び ➡（決定）➡ で [一斉] を選び ➡（決定）➡（決定）➡ 終わったら 切 ➡〈ファクス親機〉終わったら ストップ

● 上記で子機の電話帳を一斉転送しても、ファクス親機の電話帳には登録されません。

電話帳を子機へ転送する

お知らせ

- 漢字表示の子機に転送すると、ファクス親機電話帳の「ナマエ」の部分が、子機電話帳の「名前」と「フリガナ」にカタカナで登録されます。
  - 転送したあと子機電話帳の名前を漢字やひらがなにするときは子機側で修正してください。
    （☞ 子機操作編「電話帳に登録する」）
- 転送先に同じ内容があるときは、追加登録されません。（名前が同じでも電話番号やグループが違うときは登録されます）
- 全件を一斉に転送したとき ➡ を押して表示される順に転送。（多いと時間がかかります）

  ➡ 空き件数がなくなると終了。
- 転送するときは、子機をファクス親機の近くに持ってきてください。

ファクスを送る

1 原稿ふたを開け、原稿をセットする
① 原稿ガイドを紙の幅に合わせる。
② 送る面を裏向きに入れる。
● 一度に重ねて 5 枚まで。
● 原稿について（☞29 ページ）
原稿ふた
原稿ガイド
原稿（裏向き）
原稿をセットすると
ピッ と鳴る
2 ダイヤルする
3 スタート ファクス 押す
写真や小さい文字の原稿を送るとき
原稿をセットしたあと、
画質 くり返し押して、画質を選ぶ
フツウ
チイサイ
シャシン
新聞程度の小さい文字。
写真や濃淡のある原稿。
■音声案内に従って送るには
原稿セットせずに スタート ファクス 音声案内に従う。
■送るのをやめるには ストップ 押す
（再度押すと、原稿排出）
■送れなかったときは ストップ 押す（原稿排出）
留守
ストップ
モニター
ファクス

■いろいろな送りかた

同じ相手にもう一度送る（再ダイヤル）	**原稿をセットし** ➡ 再ダイヤル 押す ➡ 押して**相手を選び** ➡ スタート ファクス 押す
電話帳で送る	**原稿をセットし** ➡ 電話帳 押す ➡ 押して**相手を選び** ➡ スタート ファクス 押す
ワンタッチダイヤルで送る	**原稿をセットし** ➡ 1 ～ 3 押す
相手と話してから送る	**原稿をセットし** ➡ 取って**ダイヤルし、相手と話す** ➡ 相手にファクスを送ることを伝え**相手に**スタートボタン**を押してもらう** ➡ 「ピーヒョロロ」が聞こえたら スタート ファクス 押し、 **戻す**
海外へ送る	**原稿をセットし** ➡ モニター 押し、**ダイヤルする** ➡ 「ピーヒョロロ」が聞こえたら スタート ファクス 押す ■「ﾂｳｼﾝ ｴﾗｰ U40」が表示されて送れないとき 海外送信モードを「1 ｶｲ」に設定して送る。（☞43 ページ） ● 送信時間が通常の約 2 倍かかる。 ● 送信後、海外送信モードは自動的に解除（設定：ﾅｼ）される。

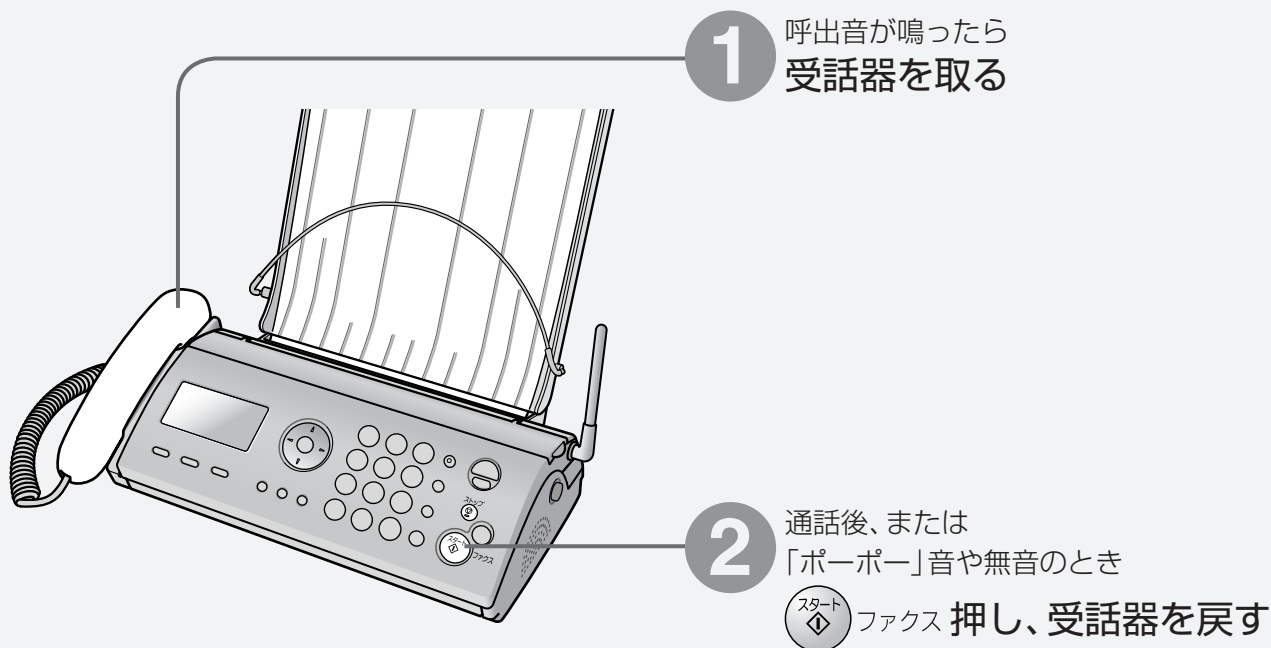
（お知らせ）

- 「ファクスを送信します…」と聞こえると、ボタンを押さなくても自動的に送信します。（ファクス親切送信）
- 電話帳でかける相手を選ぶとき、名前の頭文字やグループから探せます。
  - 名前の頭文字から探すとき （電話帳）➡ ⓪ ～ ⑨ ➡ （選ぶ）
  - グループから探すとき （電話帳）➡ ＃ ➡ ① ～ ⑨ ➡ （選ぶ）
- 送信結果を「ファクスを送信しました（できませんでした）」と音声でお知らせします。
  お知らせが必要ないときは（☞43 ページ「ファクス親切案内」）
- 構内交換機に接続しているとき　外線発信番号 ➡ 留守（ポーズ）➡ 電話番号をダイヤルする
- 相手が話し中など、応答がなかったときは、自動的に再ダイヤルします。（1 分間隔、3 回まで）
  - 受話器を取る、またはモニターボタンを押して送ったときは働きません。
  - 再ダイヤル待ちは「ﾘﾀﾞｲﾔﾙ ﾀｲｷ ﾁｭｳ」と表示します。ただし、ファクス親機を使うと中止されます。

ファクスを受ける

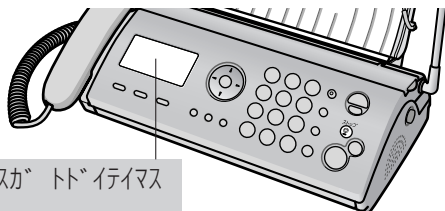
電話に出て受ける（お買い上げ時）

1 呼出音が鳴ったら
受話器を取る

2 通話後、または
「ポーポー」音や無音のとき
スタート ファクス **押し、受話器を戻す**

■受信を中止するときは ストップ 押す

お知らせ

- 「ファクスを受信します…」と聞こえたら、ボタンを押さなくても受信します。（ファクス親切受信）
- 受信後は「ファクスを受信しました（できませんでした）」と音声でお知らせします。（ファクス親機のみ）
- お知らせが必要ないときは（☞43 ページ「ファクス親切案内」）
- 7 ～ 8 回以上呼出音が鳴ってから電話に出ると、ファクスを受信できないことがあります。
- 留守番電話の用件や通話録音などでメモリーがいっぱいのときは、ファクスが受信できないことがあります。
  - 記録紙があれば最初の 1 枚だけ受信。通信速度は遅くなります。
  - 不要な用件を消してください。（☞31 ページ「■あとからすべての用件を消すとき」）
- ファクスの受信には記録紙があってもメモリーを使うため、メモリーが残っていても写真画質で送られてきたファクスなどは受信できないことがあります。

ディスプレイに「ﾌｧｸｽｶﾞ ﾄﾄﾞｲﾃｲﾏｽ」と表示されたときは

お知らせ

- 約 46 枚までメモリーに記憶できます。（☞ 共通編「仕様」の「ファクス親機」欄）
- メモリーに記憶されたファクスをすべて消去するには（☞43 ページ「ファクスメモリー消去」）

ファクスが届いています

- 記録紙またはインクフィルムがなかったためメモリーに記憶。（メモリー代行受信）

↓

記録紙をセット（なるべく 20 枚）または
インクフィルム交換

↓

自動的にプリント

- メモリーの記録は消去される。
- ストップ を押しても中止できない。

（続く）

電話に出ずに自動で受ける

在宅時、電話に出られなくても自動で受ける

留守

 消灯

● 設定が必要です。（☞26 ページ）

呼出音が3 回または 5 回鳴る → 呼出音が少し途切れて再度鳴り出す
● 回線がつながって、ここから相手に通話料金がかかる。

→ ファクスがくると
● 自動的に受信。

→ 電話がかかってくると
● 呼出音が 9 回鳴ったあと、メッセージ ①（☞45 ページ「メッセージ一覧」）が相手に流れ、電話が切れる。

● 呼出音が鳴っているときに電話を取ると
- 電話のとき…そのまま話す。
- ファクスのとき…「電話に出て受ける」操作をする。（☞ 左ページ）

呼出音を鳴らさずにファクスを受けるには〈無鳴動受信〉

● 電話がかかってきたら、すぐに回線がつながって、約 7 秒後に呼出音が鳴り始めます。（電話をかけてきた人には、すぐに通話料金がかかります）

お知らせ

● 次の場合は、無鳴動受信を設定していても呼出音が鳴ります。
- 留守セット中。（留守ボタン点灯）
- 記録紙やインクフィルムがなく、メモリーもいっぱいのとき。
- 相手が受話器を取ってダイヤルし、回線がつながってから送信の操作をしたとき。（再呼出音が鳴る）
- IP 電話などからかかってきたとき。（相手の回線や接続機器によっては、鳴ることがある）
- 並列接続した電話機の呼出音。（☞ 共通編「1 回線に複数台接続するとき（並列接続）」）（ファクス親機が応答すると呼出音は止まる）

留守のときなど自動で受ける

留守

 点灯

● 詳しくは（☞30 ページ）

呼出音が 4 回鳴る
● 呼出回数を変えるには（☞42 ページ「留守着信呼出音の回数」）

→ 応答メッセージが流れる

→ ファクスがくると
● 自動的に受信。

→ 電話がかかってくると
● 用件を録音。

ファクスのみ専用で受ける

留守

 点灯

呼出音が 1 回鳴る
● 呼出音「切」にすると鳴らない。（☞41 ページ）

→ ファクスがくると
● 自動的に受信。

→ 電話がかかってくると
● かかってきても受けられません。

● 設定が必要です。留守着信呼出音の回数を「ﾌｧｸｽ ｾﾝﾖｳ」にしてください。（☞42 ページ）

ファクスを受ける（続き）

在宅時、電話に出られなくても自動で受けるための設定

留守 が消灯しているときに働きます。

呼出音を鳴らして受ける（回数を選ぶ）

機能/修正 押す → # ① ① ② 押す → 「3」または「5」を選ぶ 押す → 押す → ストップ 押す

ヨビダシ カイスウ=5
［◀▶，ケッテイ］オス

● 解除は「15」を選ぶ。

呼出音を鳴らさず受ける（無鳴動受信）

機能/修正 押す → # ① ① ④ 押す

● 設定した時間帯はディスプレイに「無鳴動」と表示します。

7月24日 18：00
ヨウケン ロクオン 03ケン
メモリー残量 無鳴動

無鳴動

つねに鳴らさない

「ツネニスル」を選ぶ 押す → 押す → ストップ 押す

ムメイドウ=ツネニスル
［◀▶，ケッテイ］オス

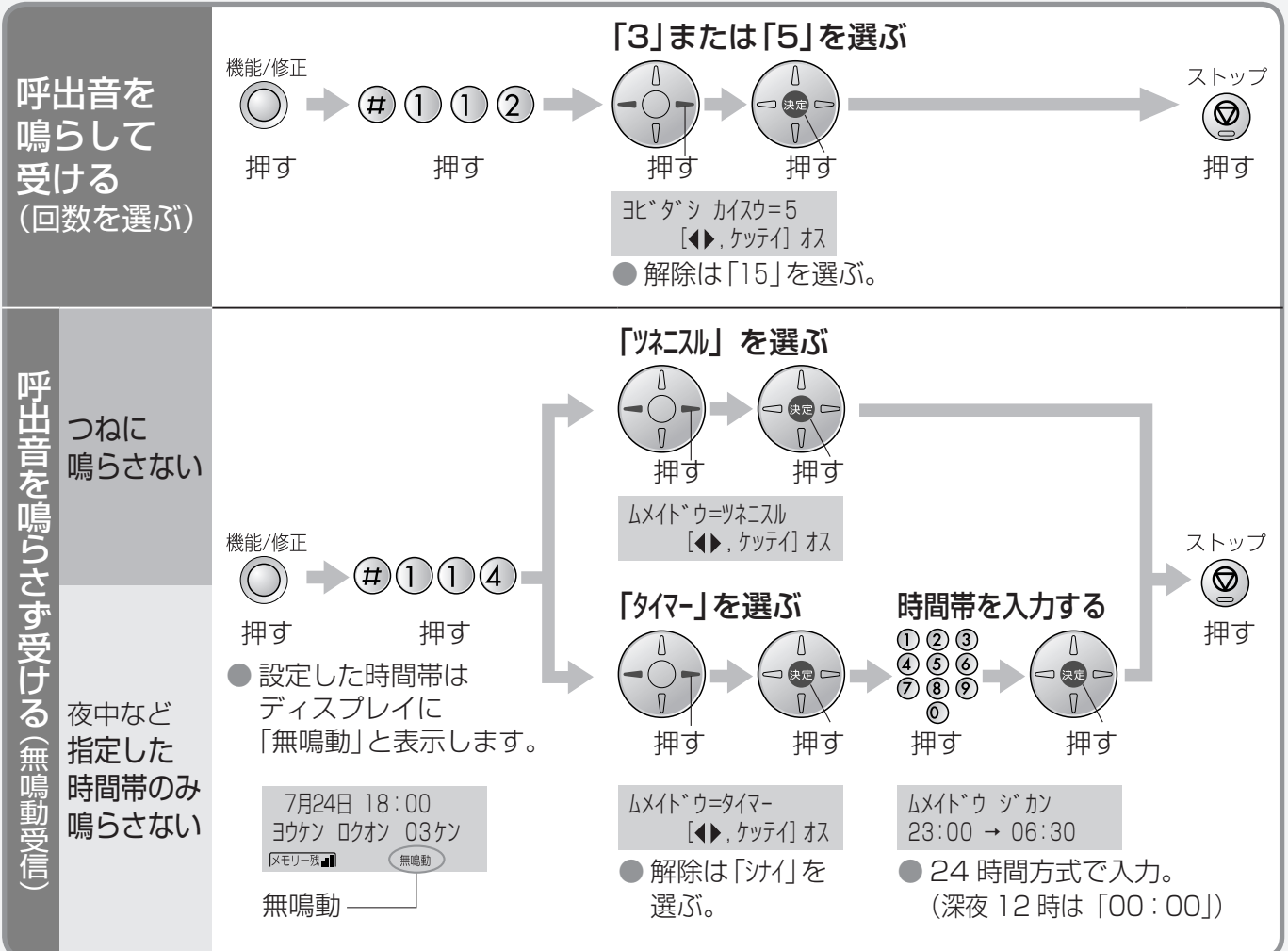
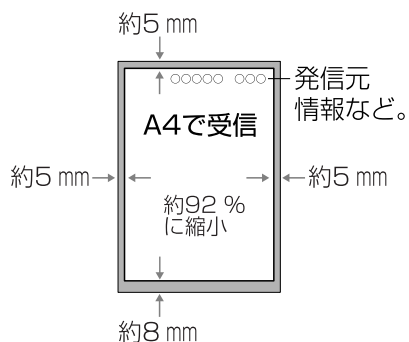
夜中など指定した時間帯のみ鳴らさない

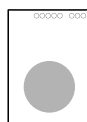
「タイマー」を選ぶ 押す → 押す → 時間帯を入力する ①〜⓪ 押す → 押す → ストップ 押す

ムメイドウ=タイマー
［◀▶，ケッテイ］オス

● 解除は「シナイ」を選ぶ。

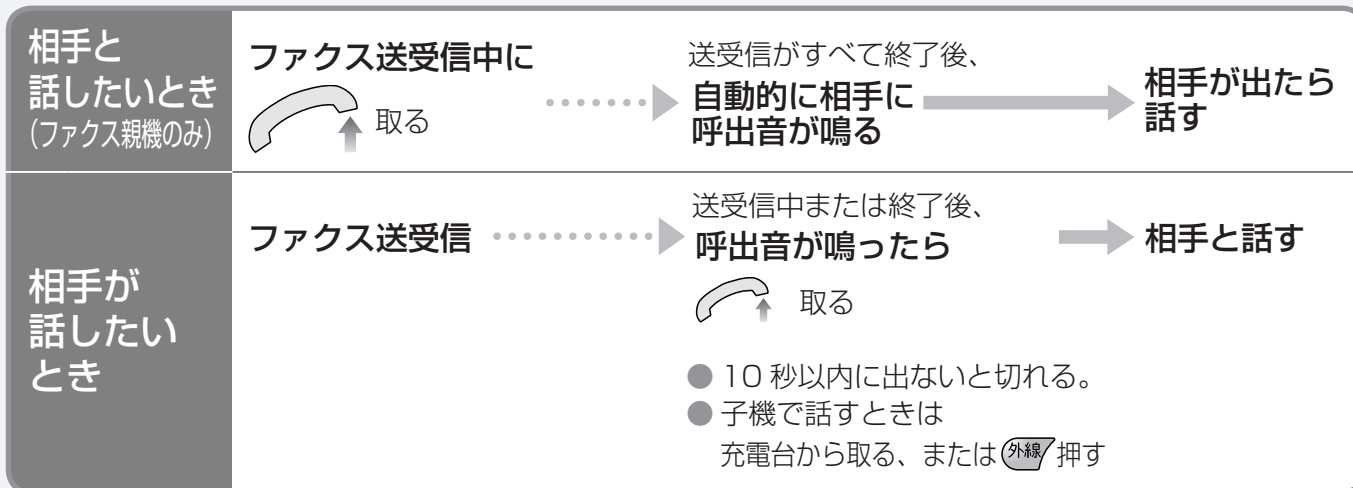
ムメイドウ ジカン
23:00 → 06:30

● 24 時間方式で入力。（深夜 12 時は「00：00」）

ファクスのプリントについて

● 相手がB4サイズやA3サイズで送ったときは、A4サイズに縮小されます。
- 文字が読みにくいときは相手に、画質を変えて送ってもらってください。
- B5サイズで横向きで送られたときも、縮小されるので縦向きに送ってもらってください。

● **エコノミー受信**
- 発信元情報やページ数の記録のため、約 92 %に縮小します。（「アリ1」）
- 原寸で受けたいときは「エコノミー受信」を「アリ2」または「ナシ」にする。（☞42 ページ）

ファクスの便利な機能

ファクス送受信後に続けて話す（電話予約）

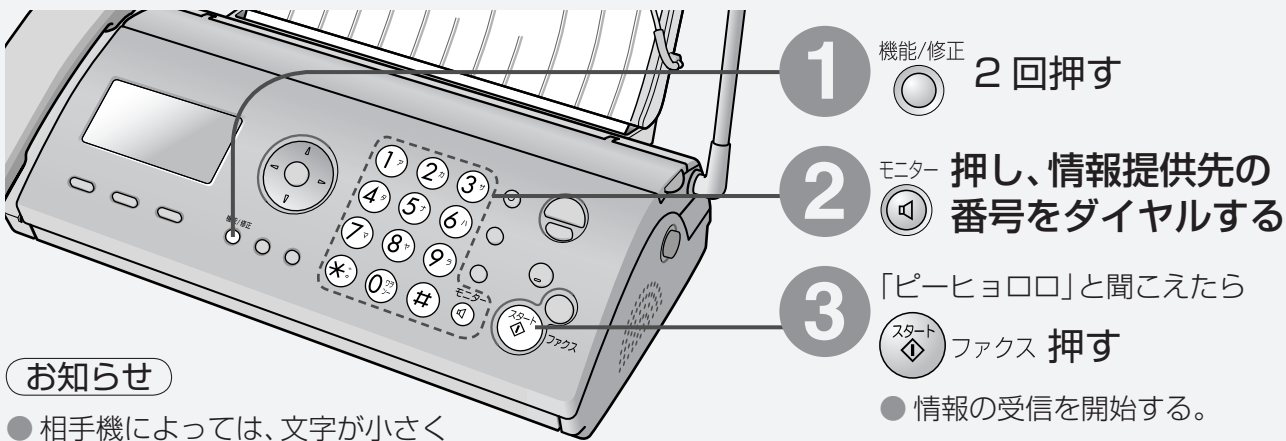
ファクス送受信後に自動的に相手を呼び出し、電話を切らずに話せます。

相手と話したいとき（ファクス親機のみ）	ファクス送受信中に 取る	送受信がすべて終了後、 **自動的に相手に呼出音が鳴る**	**相手が出たら話す**
相手が話したいとき	**ファクス送受信**	送受信中または終了後、 **呼出音が鳴ったら** 取る ● 10 秒以内に出ないと切れる。 ● 子機で話すときは 充電台から取る、または押す	**相手と話す**

お知らせ

● 相手のファクスに電話予約機能がなかったり、F ネットを使用しているときはできません。
● 呼び出しに出たあと、相手につながるまでに約３秒かかります。

娯楽情報などをファクスで受けたいとき（ポーリング受信）

ポーリングに対応した情報提供先の番号にダイヤルすると、自動的に送られてきます。

1. 機能/修正 2 回押す
2. モニター 押し、情報提供先の番号をダイヤルする
3. 「ピーヒョロロ」と聞こえたら スタート ファクス 押す
   ● 情報の受信を開始する。

お知らせ

● 相手機によっては、文字が小さくなったり、受信できない場合があります。

NTT　F ネット（ファクシミリ通信網サービス）

1. NTT と加入契約する（G3 サービス 1300 Hz）
2. 「F ネット」の設定を「アリ」にする（☞43 ページ）

お問い合わせ先（通話料金無料）
● お申し込み
フリーダイヤル 0120-414-924
● サービスに関して
フリーダイヤル 0120-161-011

お知らせ

● F ネットに加入して、ファクスが送られてきたときは
  ● 呼出音は鳴らずに自動受信します。（契約が 16 Hz のときは鳴る）
  ● コピーや登録操作中は「F NET ﾖﾋﾞﾀﾞｼﾃﾞｽ」と表示され、約 3 秒間断続的にブザーが鳴りますが、受信しません。その後、再送信され自動受信します。

コピーする

原稿をセットすると **ピッ** と鳴る

原稿（裏向き）

1 原稿ふたを開け、原稿をセットする

① 原稿ガイドを紙の幅に合わせる。

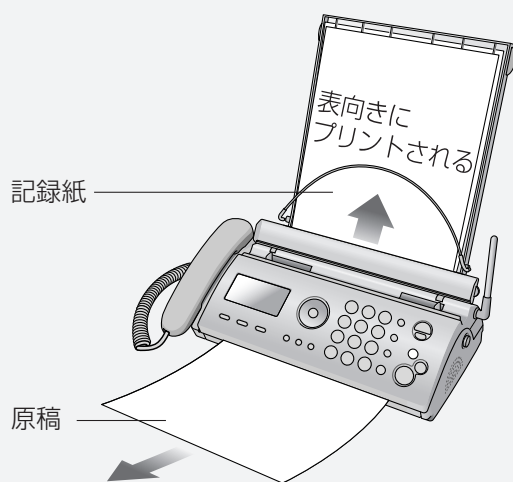
② コピーする面を裏向きに入れる。

- 一度に重ねて 5 枚まで。
- 原稿について

（☞ 右ページ）

原稿ふた

原稿ガイド

2 コピー 押す

■写真や濃淡のある原稿をコピーするには

原稿をセットした後に、画質 くり返し押して「ｼｬｼﾝ」を選ぶ。

■音声案内に従ってコピーするには

原稿セットせずに、コピー ➡ 音声案内に従う。

■途中でやめるには

ストップ 押す（再度押すと、原稿排出）

（お知らせ）

- 画質「ﾌﾂｳ」でコピーしても、自動的に「ﾁｲｻｲ」に変わります。
- ファクス親機でプリント中は、子機で電話を受けられません。
- A4 サイズより長い原稿をコピーすると
  - A4 サイズ分のみプリントされる。
  - 続きを次ページにプリントするには （☞44 ページ「分割コピー」）

ファクス・コピーの 原稿・記録紙について

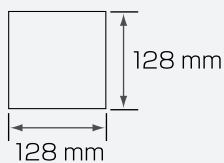
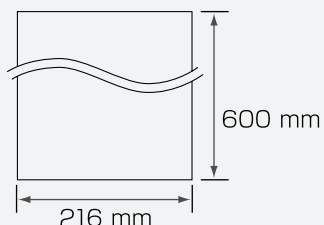
原稿について

■サイズ

● 最小

128 mm
128 mm

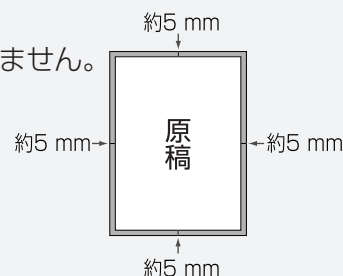
● 最大

600 mm
216 mm

■厚さ

● 1 枚のとき
0.06 ～ 0.2 mm
● 2 枚以上 5 枚以下
0.06 ～ 0.13 mm
（この取扱説明書は、
約 0.1 mm です）

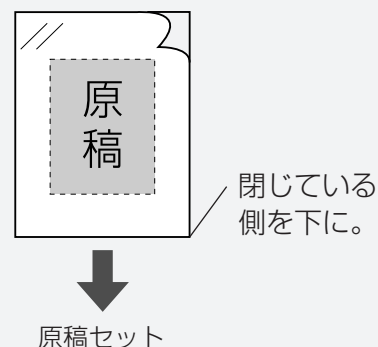
■読み取り可能範囲

● 網部分は
読み取れません。

約5 mm
約5 mm
原稿
約5 mm
約5 mm

● 原稿が 2 枚以上のときは、同じサイズ・厚さで先端をそろえる。

■次のような原稿は、別の複写機でコピーするか、キャリアシートを使う

原稿の状態	別の複写機でコピーする	キャリアシートを使う
薄い紙（0.06 mm 未満のもの）	○	○
厚い紙（0.2 mm を超えるもの）	○	
布地・金属シート	○	
のりやセロハンテープで貼り合わせたもの	○	
幅 128 mm ×長さ 128 mm より小さいもの	○	○
破れ・しわ・カールや折り目のあるもの	○	○
フィルムやトレーシングペーパーのようなもの	○	○
表または裏がコーティングされているもの	○	○
感熱紙、裏カーボン紙など化学処理したもの	○	○
パンチ穴が開いているもの	○	○
こしが強いもの	○	

● キャリアシートを使うとき
（☞ 共通編「別売品」）

■次のものはコピー禁止です

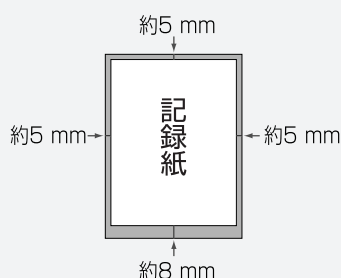
● 通貨・証券類・未使用郵便切手・官製はがき・印紙・酒税法で規定の証書類など（法律で禁止）
● 著作権の対象となっている書籍類・芸術作品類・地図など（個人的な使用以外は法律で禁止）

■こんなときは

● クリップやホッチキスは、取り外す。
● インク・のり・修正液は、完全に乾かしてからファクス・コピーする。
● 白や黒い線が入るときは、原稿読取部の汚れをふき取る。（☞ 共通編「白や黒の線が入るとき」）

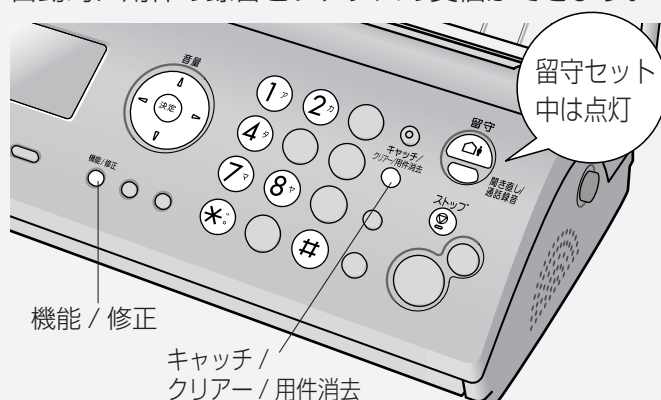
記録紙について

■プリント可能範囲

● 網部分はプリント
されません。

■こんなときは

● 表面がざらざらしている記録紙は、文字が
かすれるので、滑らかな記録紙にする。

留守番電話を使う

留守セットしておけば、
自動的に用件の録音とファクスの受信ができます。

留守セットし、用件を聞く

お出かけ前に
留守セットする

留守
押す

- ランプが点灯。
- 応答メッセージが流れる。

止めるには ストップ 押す

ﾉｺﾘ ﾔｸ 18ﾌﾝﾃﾞｽ —— 録音残り時間
ｵｳﾄｳ ﾒｯｾｰｼﾞ:ｺﾃｲ

メッセージの種類（固定／自作）

お知らせ

- 留守セットしても、残している用件は消えません。
- 6 秒以上相手が話さなかったときや、声が小さいときは、正しく録音されません。

■あとからすべての用件を聞き直すとき

聞き直し／通話録音 押す

留守セットして、電話やファクスを受ける

呼出音が 4 回鳴る
- 鳴る回数を変えるには…
  （☞42 ページ「留守着信呼出音の回数」）

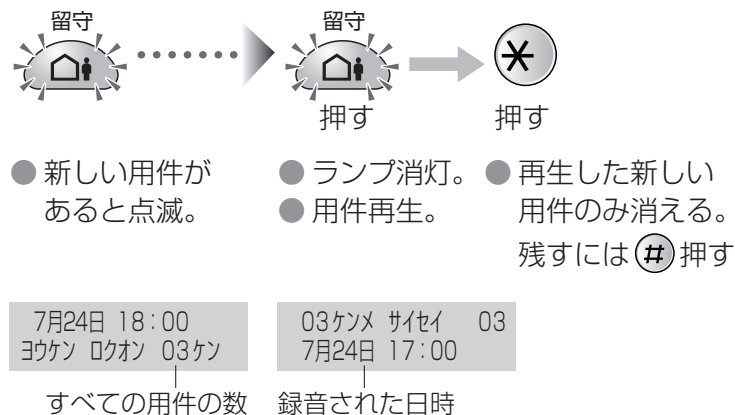
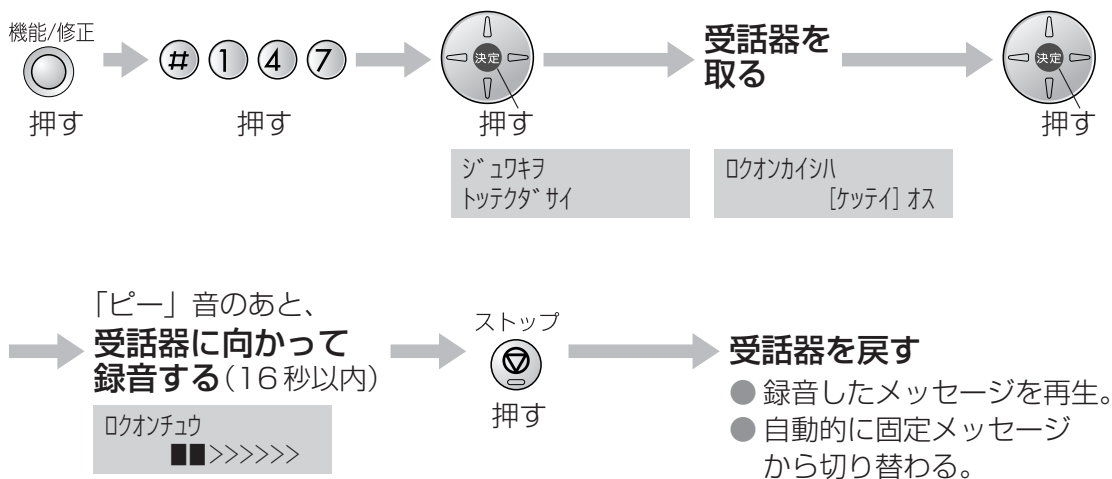
応答メッセージが流れる
（下記）

電話のとき
相手の用件が録音される。
（スピーカーから相手の声が聞こえる）
- 電話に出るには、受話器を取る
  （録音は途中で止まり、1 件分として残る）

ファクスのとき
ファクスを自動的に受信する。

- 応答メッセージの内容は（固定の応答メッセージ）（☞45 ページ「メッセージ一覧」）
  - 通常は…メッセージ ②
  - 用件録音できないときは…メッセージ ③
  - ファクスが受信できないときは…メッセージ ④
  - 用件録音もファクス受信もできないときは…メッセージ ⑤

録音時間と件数について

- 1 件あたり 2 分まで。変更するには（☞43 ページ「用件録音時間」）
- 合計 18 分、最大 50 件まで。（録音時間は、通話録音・自作応答メッセージを含む）
- メモリー代行受信されているときは、録音時間は短くなります。
  （詳しくは ☞ 共通編「仕様」の「ファクス親機」欄）

自分の声で応答メッセージを作る

■固定の応答メッセージに戻すには 機能/修正 ➡ #128 ➡ 「コテイ」を選び ➡ （決定） ➡ ストップ

■自作の応答メッセージを消すには 機能/修正 ➡ #148 ➡ （決定） ➡ ＊

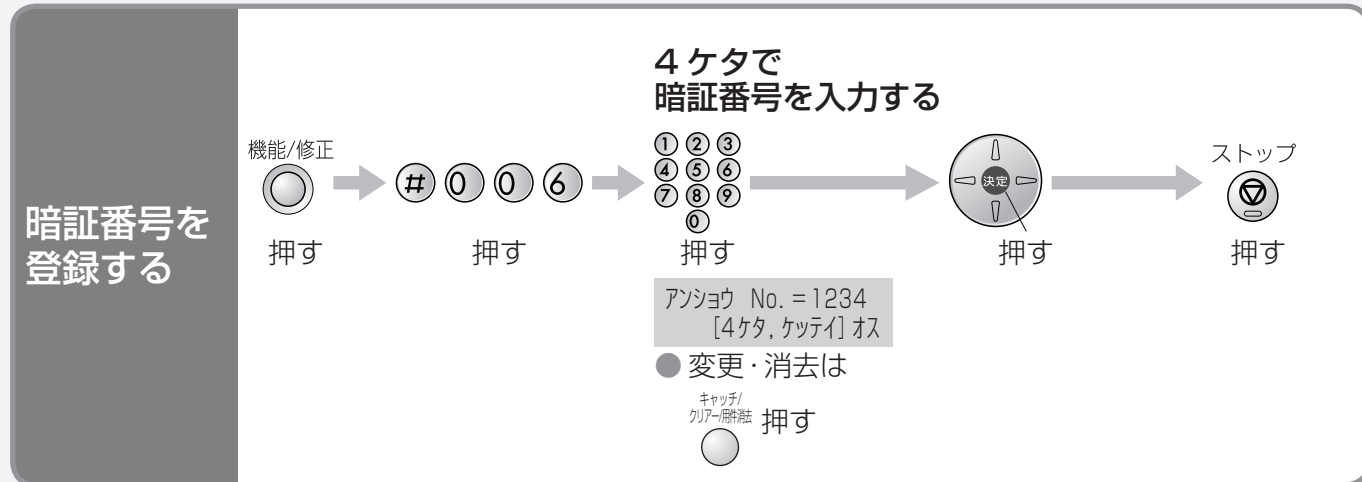
お知らせ

● メモリーがいっぱいのときは、録音できません。また、録音していても固定メッセージに切り替わります。

留守番電話を使う

外出先から 留守番電話を聞く

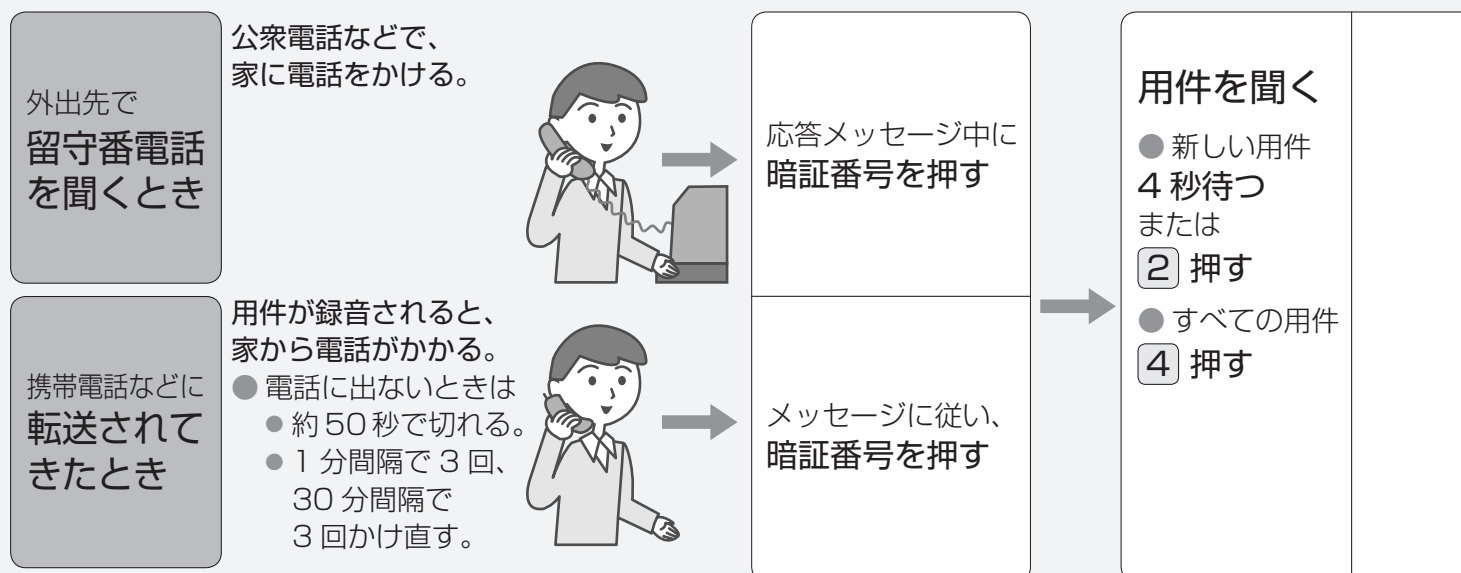
外出先から聞くための準備

外から電話をかけると、新しい用件が聞けます。

■外出前に留守セットしてください 留守 押す

■外出先から留守セットできます

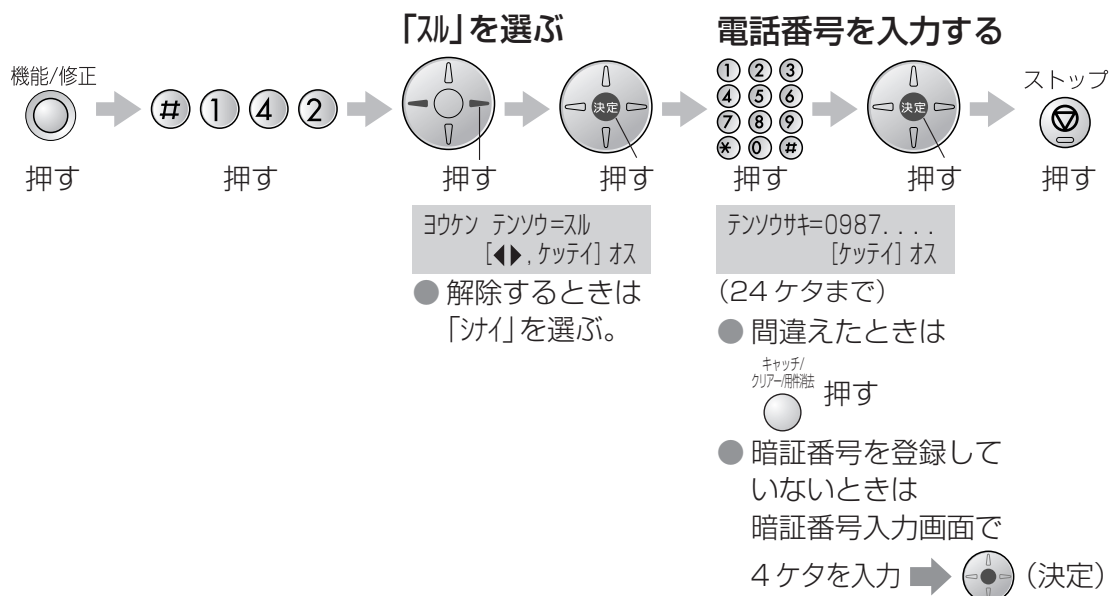
家に電話をかける ➡ 呼出音が少し小さい音に変わったら、暗証番号を押す ➡ 「留守設定をしました」と聞こえたら切る

「在宅着信呼出音の回数」を「ｼﾞﾄﾞｳ ｵｳﾄｳ ｼﾃｲ」に設定すると、できません。(☞42 ページ)

外出先での操作

■電話代節約のために〈トールセーバー〉

● 家に電話をかけたとき、留守番電話が応答するまでの呼出音の回数で新しい用件の有無がわかります。
  ● 3回以内：新しい用件あり　4回以上：新しい用件なし
  留守番電話が応答する前に電話を切ると、通話料金がかかりません。
● 設定は（☞42 ページ「留守着信呼出音の回数」）

携帯電話などに転送するための設定

新しい用件が録音されると、自動的に家から電話がかかってきます。

● ホームテレホンや構内電話に接続していると、転送できないことがあります。

こんなことができます

■用件再生前・終了後
●留守セットを解除する……0
●用件転送を設定する………7
(事前に転送先の登録が必要)
●用件転送を解除する………9
●すべての用件を聞き直す…4
(一度聞いた用件を含む)
●すべての用件を消す………6
押して「消去します…」メッセージの後、再び6押す。

■用件再生中
●前の用件を聞く……………………1
●再生中の用件を聞き直す………2
●次の用件を聞く……………………3
●再生速度を遅くする……………4
●再生速度を速くする……………5
●再生速度を元に戻す……………4または5
●再生を中止する……………………#
●再生中の用件を消す……………6
押して「消去します…」メッセージの後、再び6押す。

電話を切る

お知らせ

● 外出先では、トーン信号(ピッポッパッ)が出せる電話機をお使いください。
● 一度聞いた用件は再生されません。(くり返し再生させるには ☞43 ページ「留守電リモート再生」)
● かかってきた電話やファクスを直接転送するには、NTT のボイスワープサービス(有料)をご利用ください。(お問い合わせは NTT 窓口☎ 116 へ)
● ファクス専用(☞25 ページ)にすると、外出先から用件を聞けません。

ナンバー•ディスプレイサービス

ナンバー・ディスプレイサービスとは…

電話がかかってくると…

相手の電話番号を表示

- 電話帳に登録した相手は、名前も表示。
- ネーム・ディスプレイサービス（子機のみ対応）を使うと、名前（最大 10 文字）と電話番号を表示。（電話帳に登録した相手は、ファクス親機・子機とも電話帳の名前を表示）
  - ネーム・ディスプレイで名前が表示されないとき
    ➡かけてきた相手が名前を表示するように NTT に申し込んでいないことがあります。
  - 子機で表示できない漢字があると、自動的に「※」に変わります。

〈ファクス親機〉

マツシタ
0987654

〈子機〉

松下太郎
0987654

相手の電話番号を確認してから電話に出る

- 日時と電話番号を着信メモリーに記憶。（30 件まで）（☞36 ページ）

■こんな表示が出たとき

親機の表示	子機の表示	相手がこんなとき	着信メモリー
ﾋﾂｳﾁ	非通知	電話番号を通知していない	記憶される
ｺｳｼｭｳﾃﾞﾝﾜ	公衆電話	公衆電話から	
ﾋｮｳｼﾞｹﾝｶﾞｲ	表示圏外	海外など番号を通知できない電話	
ﾋｮｳｼﾞﾃﾞｷﾏｾﾝ	ー	回線状態が悪いとき	記憶されない

- **キャッチホン・ディスプレイサービス契約時は**
  キャッチホンでかかってきた電話も、相手の番号を表示（約 30 秒間）し、メモリーに記憶。

ナンバー・ディスプレイを利用するには（契約が必要です）

NTT と契約する（有料） ➡ 設定は必要ありません ➡ NTT 工事終了後に利用できる

- 契約・工事についてのお問合せは　NTT 窓口☎ 116（通話料金無料）
- NTT の他のサービスと同時に使えないことがあります。
- ネーム・ディスプレイは、地域によって利用できない場合があります。
- ISDN 回線のときは、ターミナルアダプターの設定が必要です。
- ホームテレホン・構内交換機に接続のときは、利用できません。

お願い

- 1 回線に複数台を接続しないでください。（誤動作の原因）

■キャッチホン・ディスプレイサービス契約時は、設定してください

機能/修正 ➡ # 1 3 7 ➡ 「ｱﾘ」を選び（解約時は「ﾅｼ」を選び）➡（決定）➡ ストップ

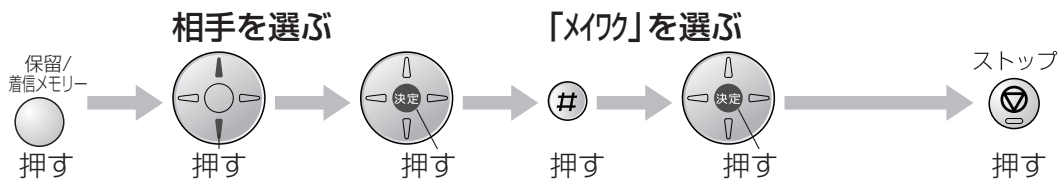
■ナンバー・ディスプレイの利用をやめるには（NTT への連絡が必要）

機能/修正 ➡ # 1 3 3 ➡ 「ﾅｼ」を選び ➡（決定）➡ ストップ

自分の電話番号を相手に通知するかしない（非通知）か選べます

	常に決めておく（回線ごと）	かけるたびに選ぶ（通話ごと）
通知するとき	NTT に「通常通知」申し込み。	1 8 6 をつけてかける（☞8 ページ）
通知しないとき	NTT に「通常非通知」申し込み。	1 8 4 をつけてかける（☞8 ページ）

相手によって受けかたを変える（ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要）

特定の相手からの
迷惑電話やファクスを拒否する
（30 件まで）

● 拒否した相手から電話があったときは、呼出音は鳴らずに相手に話し中の音（プープープー）が流れます。

■着信メモリーにない相手を拒否したいとき

■解除するとき

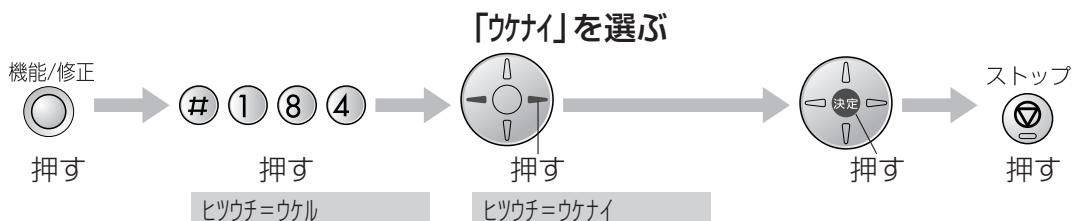
（個別に）

（すべて）

非通知の電話やファクスを受けない

「ｳｹﾅｲ」を選ぶ

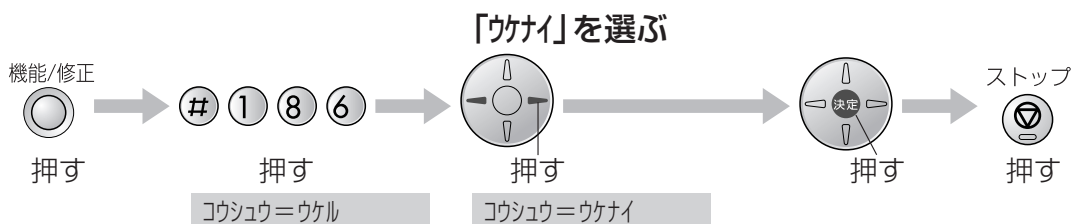
機能/修正 押す → # 1 8 4 押す → 押す → 決定 押す → ストップ 押す

ﾋﾂｳﾁ＝ｳｹﾙ　ﾋﾂｳﾁ＝ｳｹﾅｲ

● 非通知の電話は、呼出音が鳴らずに相手にメッセージ ⑥（☞45 ページ）を流す。

公衆電話からの電話を受けない

「ｳｹﾅｲ」を選ぶ

機能/修正 押す → # 1 8 6 押す → 押す → 決定 押す → ストップ 押す

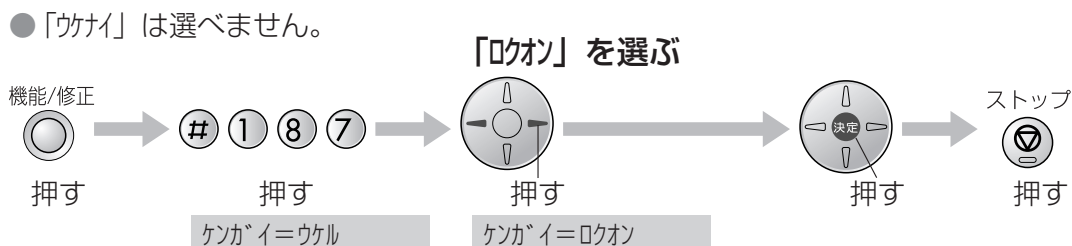
ｺｳｼｭｳ＝ｳｹﾙ　ｺｳｼｭｳ＝ｳｹﾅｲ

● 公衆電話からの電話は、呼出音が鳴らずに相手にメッセージ ⑦（☞45 ページ）を流す。

表示圏外
（海外など番号を通知できない電話）
からの電話に直接出ない

●「ｳｹﾅｲ」は選べません。

「ﾛｸｵﾝ」を選ぶ

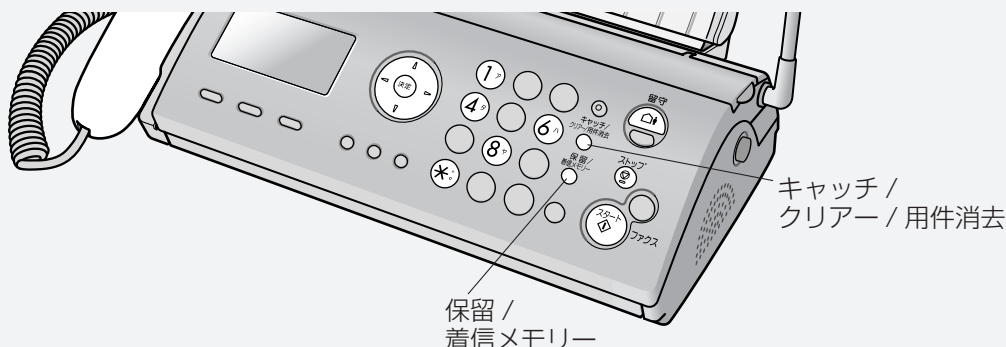
機能/修正 押す → # 1 8 7 押す → 押す → 決定 押す → ストップ 押す

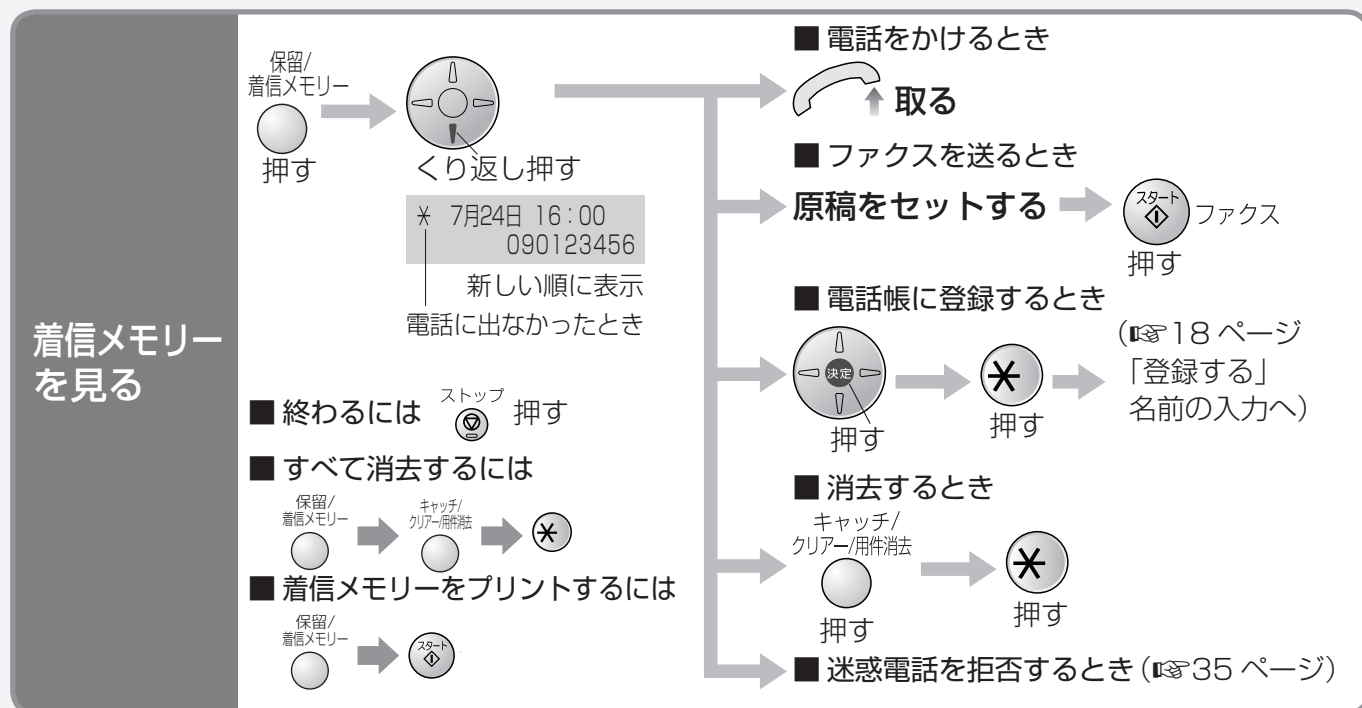
ｹﾝｶﾞｲ＝ｳｹﾙ　ｹﾝｶﾞｲ＝ﾛｸｵﾝ

●「ﾛｸｵﾝ」を選ぶと、留守セットしていなくても留守番電話が応答し、相手の声を確かめてから電話に出られます。（ファクスは受信）

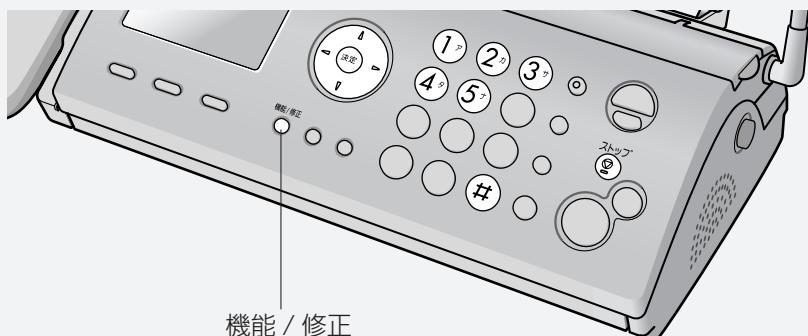
■解除するとき　それぞれ、コード番号を押した後、「ｳｹﾙ」を選ぶ。

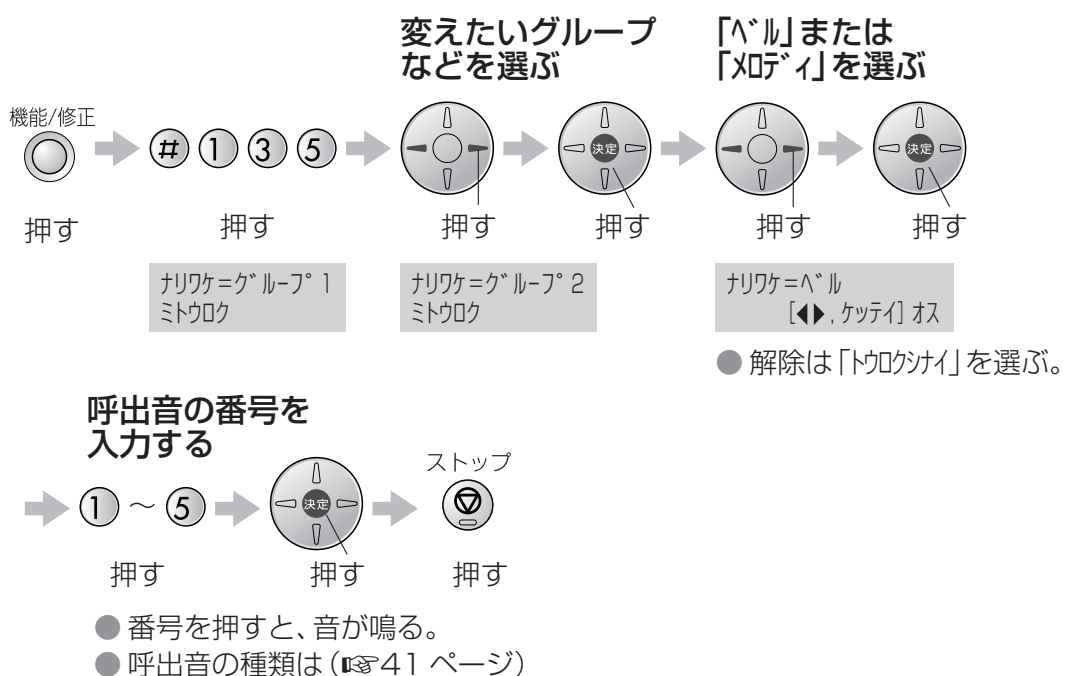
お知らせ

● キャッチホン・ディスプレイをご利用時、通話中にキャッチホンが入っても上記機能は働きません。

ナンバー・ディスプレイサービス（続き）

着信メモリー（履歴）を見る・使う（ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要）

着信メモリーは、ファクス親機・子機共通で 30 件まで。

● 電話番号に 184 や 186 をつけてかけるとき（☞34 ページ）

（ポーズを入れないと誤発信することがあります）

相手によって呼出音を変える〈外線着信鳴り分け〉(ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要)

電話帳のグループ(事前に登録が必要 ☞18 ページ)、非通知、公衆電話、表示圏外ごとに変えられます。

お知らせ

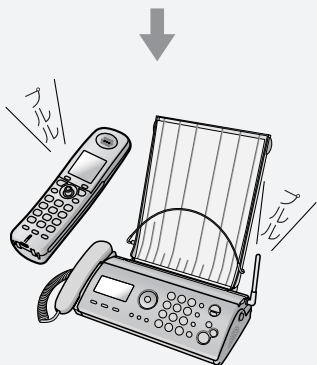
● キャッチホン・ディスプレイをご利用時、通話中にキャッチホンが入っても上記機能は、働きません。

モデムダイヤルインサービス

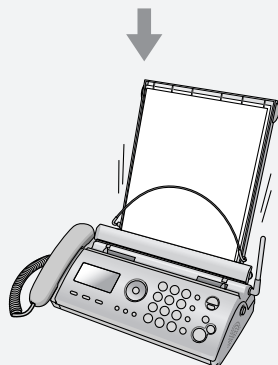
モデムダイヤルインサービスとは…

1 つの回線で 2 つ以上の電話番号を使うことができます。

■電話とファクスで違う番号を使う

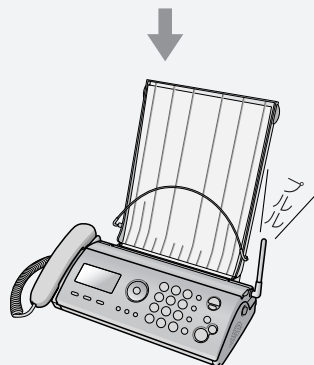
電話用番号にかかってくると…

呼出音が鳴る

● ファクス受信や留守番電話で応答もできます。

ファクス用番号にかかってくると…

呼出音を鳴らさずにファクスを受信

● 電話に出たり、留守番電話での応答はできません。

■ファクス親機と子機で違う番号を使う

ファクス親機用番号にかかってくると…

ファクス親機だけが鳴る

● 子機では電話に出られません。
● ファクス受信や留守番電話で応答もできます。

子機用番号にかかってくると…

子機だけが鳴る

● ファクス親機では電話に出られません。
● ファクス自動受信や留守番電話での応答はできません。

モデムダイヤルインサービスを利用するには（契約が必要です）

■契約の前にご確認ください

● 2 つの電話番号は同時に通話・通信できません。
● ホームテレホン・構内交換機では使用できません。
● 他サービスとの併用は、NTT 窓口に確認してください。

NTT と契約する（有料）

連絡が来る

必ずサービス開始後に設定する（☞ 右ページ）

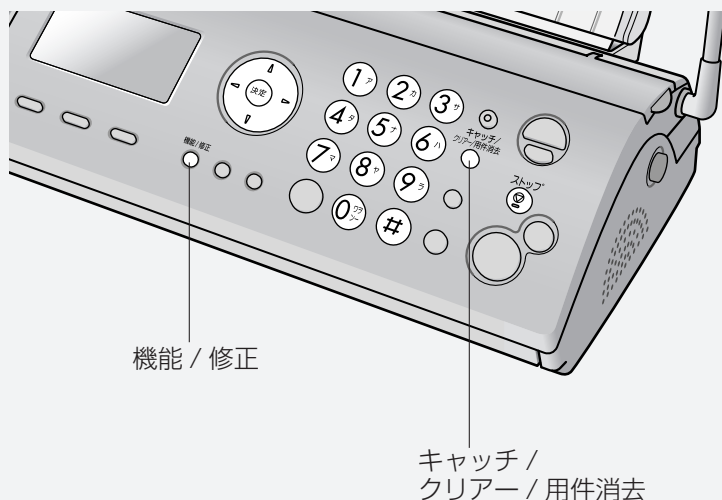
● 契約・工事についてのお問合せは　NTT 窓口☎ 116（通話料金無料）

お願い

● 一回線に複数台接続しないでください。（☞ 共通編「1 回線に複数台接続するとき（並列接続）」）（誤動作の原因）
● 本機は「ダイヤルインサービス」には対応していません。「モデムダイヤルインサービス」を利用してください。（ダイヤルインサービス利用時は変更する〈有料〉）

お知らせ

● ISDN 回線のときは、ターミナルアダプターの設定が必要です。主番号に設定したアナログポートに、ファクス親機を接続してください。
● 電話がかかってきたときは、つながる（呼出音が鳴る）まで約 4 ～ 10 秒かかります。
● トールセーバー（☞32 ページ）がうまく働かないことがあります。

設定のしかた（モデムダイヤルインサービスの契約が必要）

■設定する番号は…

電話用番号	主番号（電話取付時の番号）
ファクス用番号	新しい番号

ファクス親機用番号	主番号（電話取付時の番号）
子機用番号	新しい番号
2 台目以降の子機	どちらでも可

電話とファクスで違う番号を使う

機能/修正 押す → #131 押す → 「TEL/FAX」を選ぶ 押す → 押す → 電話用番号の下４ケタを入力する 押す → 押す → ファクス用番号の下４ケタを入力する 押す → 押す → ストップ 押す

ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ=ﾅｼ [◀▶, ｹｯﾃｲ] ｵｽ	ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ=TEL/FAX [◀▶, ｹｯﾃｲ] ｵｽ	TEL＝4321 [4ｹﾀ, ｹｯﾃｲ] ｵｽ	FAX＝4320 [4ｹﾀ, ｹｯﾃｲ] ｵｽ

● 間違えたときは キャッチ/クリアー/用件消去 押す

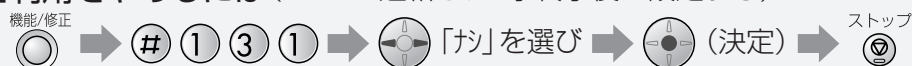
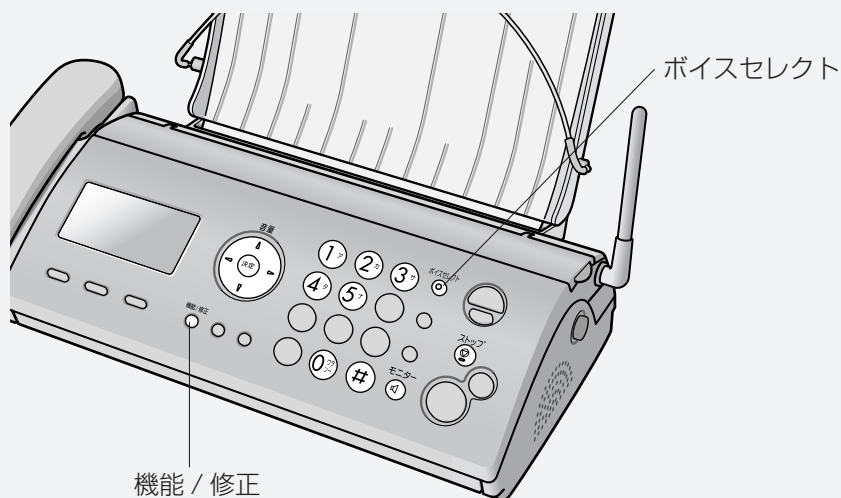
ファクス親機と子機で違う番号を使う

機能/修正 押す → #131 押す → 「ｵﾔｷ / ｺｷ」を選ぶ 押す → 押す → ファクス親機用番号の下４ケタを入力する 押す → 押す → 子機用番号の下４ケタを入力する 押す → 押す → ストップ 押す

ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ=ﾅｼ [◀▶, ｹｯﾃｲ] ｵｽ	ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ=ｵﾔｷ/ｺｷ [◀▶, ｹｯﾃｲ] ｵｽ	ｵﾔｷ=4321 [4ｹﾀ, ｹｯﾃｲ] ｵｽ	ｺｷ1=4320 [4ｹﾀ, ｹｯﾃｲ] ｵｽ

● 間違えたときは キャッチ/クリアー/用件消去 押す

● 2 台目以降の子機は、続けて入力する。

■利用をやめるには（NTT へ連絡し、工事終了後に設定する）

音の設定（音質・音量・呼出音）

相手の声の音質を変える（相手の声が聞きとりにくいときなど）

外線通話中 **ボイスセレクトを使う**	ボイスセレクト 押すごとに切り替わる	**標準**（お買い上げ時） ボ゛イスセレクト ヒクイ --■■-- タカイ →	**高音を強調** ボ゛イスセレクト ヒクイ ----■■ タカイ →	**低音を強調** ボ゛イスセレクト ヒクイ ■■---- タカイ （→標準へ戻る）

- 3 者通話中やモニターでの通話、電話内線通話、ドアホン通話時は、変更できません。
- 次に設定するまで、設定は変わりません。

音の大きさを変える

	変えられるとき	変えられる範囲
呼出音量 (外線／内線／ドアホン)	電話をかけていないとき	8段階+「切」
受話音量	通話中	3段階
スピーカー音量	モニター を押したとき／留守電再生中	9段階

音量を変える

押して **大きく**

押して **小さく**

■「切」(呼出音を鳴らさない)にするには

「ピピッピピッ」と鳴るまで押し続ける。
(押すと解除)

- 電話内線通話の呼出音は、「切」にしても最小で鳴ります。
- スピーカー音量はレベル「0」にしても、次回使うときは「2」の音量になります。

呼出音を変える

電話がかかってきたときの呼出音を変える

ﾖﾋﾞﾀﾞｼｵﾝ=ﾍﾞﾙ
[◀▶, ｹｯﾃｲ] ｵｽ

「ﾍﾞﾙ」または「ﾒﾛﾃﾞｨ」を選ぶ

ﾖﾋﾞﾀﾞｼｵﾝ=ﾍﾞﾙ
[◀▶, ｹｯﾃｲ] ｵｽ

呼出音の番号を入力する

ﾍﾞﾙ=1
[1－5, ｹｯﾃｲ] ｵｽ

- 番号を押すと、音が鳴る。

■呼出音の種類

	呼出音の番号	内　容
ベル	1～5	5種類のベル
メロディ	1	JUPITER
	2	ヴァルキューレの騎行
	3	CANTATA(主よ、人の望みの喜びよ)
	4	くるみ割り人形

- 電話内線通話／ドアホンの呼出音は変更できません。

機能一覧

● お買い上げ時は、［　　］枠の値に設定されています。

■変更するときは　機能/修正 押す → コード番号を押す → 押す 選ぶまたは数字などを入力 → 押す → ストップ 押す

一覧表に設定手順があるものはそれに従う。

項目はディスプレイの表示を漢字で表記しています。

項目	内容〈機能名〉	コード番号	設定値／設定手順	ページ
最初の設定	現在の日時　〈日付・時刻〉	#001	年・月・日・時刻を入力 (☞ 共通編「日付・時刻を設定する」)	−
	相手のファクスにプリントされる名前　〈あなたの名前〉	#002	名前を入力 (☞ 共通編「名前や電話番号を登録する」)	−
	相手のファクスにプリントされる電話番号　〈あなたの電話番号〉	#004	電話番号を入力 (☞ 共通編「名前や電話番号を登録する」)	−
	電話回線の設定　〈電話回線種別〉	#079	[ｼﾞﾄﾞｳ]、ﾌﾟｯｼｭ、20、10 (☞ 共通編「手動で電話の回線種別を設定する」)	−
	機能登録の内容をプリント　〈登録リスト印刷〉	#000	(決定) 押す	−
呼出音／回数	呼出音　〈呼出音〉	#054	ﾍﾞﾙ　：[1]、2、3、4、5 ﾒﾛﾃﾞｨ：1、2、3、4	41
	在宅時、自動的に回線がつながるまでの呼出音の回数　〈在宅着信呼出音の回数〉	#112	3、5、10、[15]、20、 ｼﾞﾄﾞｳ ｵｳﾄｳ ｼﾅｲ (電話に出るまで鳴り続ける)	26
	留守時、応答メッセージを流すまでの呼出音の回数　〈留守着信呼出音の回数〉	#121	2、[4]、6、9、ﾌｧｸｽ ｾﾝﾖｳ、ﾄｰﾙｾｰﾊﾞｰ ● 9：応答するまでの時間が長いため、相手機のファクス信号が終了し、ファクスを自動受信できないことがある。 ● ﾌｧｸｽ ｾﾝﾖｳ：留守セットが必要。 ● ﾄｰﾙｾｰﾊﾞｰ (☞32 ページ)	25
電話帳の設定	電話帳、ワンタッチダイヤルの内容をプリント　〈電話帳印刷〉	#041	[ｵﾔｷ]、ｺｷ	14 19
	電話帳の内容を子機に転送　〈電話帳転送〉	#143	転送先を選ぶ → 内容を選ぶ	20
	電話帳の内容をすべて消去　〈電話帳全消去〉	#144	(決定) → *	−
ファクスの受けかた	在宅時、呼出音を鳴らさずにファクスを受ける　〈無鳴動受信〉	#114	[ｼﾅｲ]、ﾂﾈﾆｽﾙ、ﾀｲﾏｰ ● ﾀｲﾏｰ：鳴らさない時間帯を設定。	25 26
	記録紙節約のため、縮小してプリント　〈エコノミー受信〉	#090	[ｱﾘ1]：92 %に縮小してプリント ｱﾘ2：原寸でプリント (収まらない部分はプリントしない) ﾅｼ：原寸でプリント (収まらない部分は 2 ページ目にプリント)	26

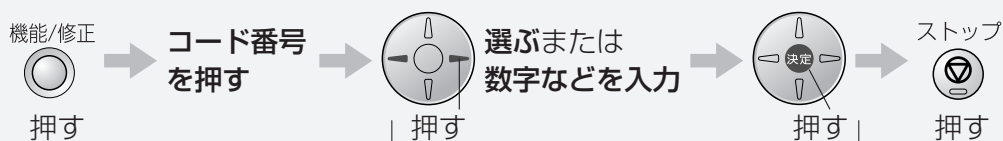
（続く）

● お買い上げ時は、[　　] 枠の値に設定されています。

■変更するときは

コード番号を押す

選ぶまたは数字などを入力

ストップ 押す

一覧表に設定手順があるものはそれに従う。

項目はディスプレイの表示を漢字で表記しています。

項目	内容〈機能名〉	コード番号	設定値／設定手順	ページ
ファクスの設定	送受信結果の音声を流す〈ファクス親切案内〉	#020	[アリ]（流す）、ナシ（流さない）	23 24
	海外へうまく送れないとき〈海外送信モード〉	#023	1カイ、[ナシ]	23
	NTT の F ネットを利用する〈F ネット〉	#105	アリ（する）、[ナシ]（しない） ● ホームテレホンに接続するときは、「アリ」を選ぶ。	27
	メモリー代行受信（☞24 ページ）したファクスをすべて消去する〈ファクスメモリー消去〉	#106	（決定）➡ ＊	–
留守番電話の設定	外出先から操作時の暗証番号〈暗証番号〉	#006	4 ケタの数字を入力	32
	1 件あたりの録音時間〈用件録音時間〉	#030	[2フン]、サイダイ	30
	外出先から用件再生時の回数〈留守電リモート再生〉	#127	クリカエシ（くり返し再生）、[1カイ]	33
	用件を外出先に転送〈用件転送〉	#142	スル（転送先登録）、[シナイ]	33
	自分の声で応答メッセージを作る〈自作応答録音〉	#147	録音する	31
	自作メッセージを消す〈自作応答消去〉	#148	（決定）➡ ＊	31
	自作の応答メッセージから固定に戻す〈応答切替〉	#128	[ジドウ]：自動切替（自作メッセージ優先） コテイ：固定に戻す	31
ナンバー・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイサービスを利用〈ナンバー・ディスプレイ〉	#133	[ジドウ]、アリ、ナシ（やめるとき）	34
	キャッチホン・ディスプレイサービスを利用〈キャッチホン・ディスプレイ〉	#137	アリ（する）、[ナシ]（しない）	34
	相手によって呼出音を変える〈外線着信鳴り分け〉	#135	電話帳のグループ（1 ～ 9）・非通知・公衆電話・表示圏外ごとに設定。	37
	非通知の電話に出ない〈非通知着信拒否／留守応答〉	#184	[ウケル]、ウケナイ（拒否）、ロクオン（留守番電話で応答）	35
	公衆電話からの電話に出ない〈公衆電話着信拒否／留守応答〉	#186	[ウケル]、ウケナイ（拒否）、ロクオン（留守番電話で応答）	35
	表示圏外の電話に直接出ない〈表示圏外留守応答〉	#187	[ウケル]、ロクオン（留守番電話で応答）	35
	特定の相手からの電話に出ない〈迷惑電話着信拒否〉	#136	アリ（拒否する相手を設定）、[ナシ]	35

機能一覧（続き）

● お買い上げ時は、[ ]枠の値に設定されています。

■変更するときは　機能/修正 押す → コード番号を押す → 選ぶまたは数字などを入力 押す → 押す(決定) → ストップ 押す

一覧表に設定手順があるものはそれに従う。

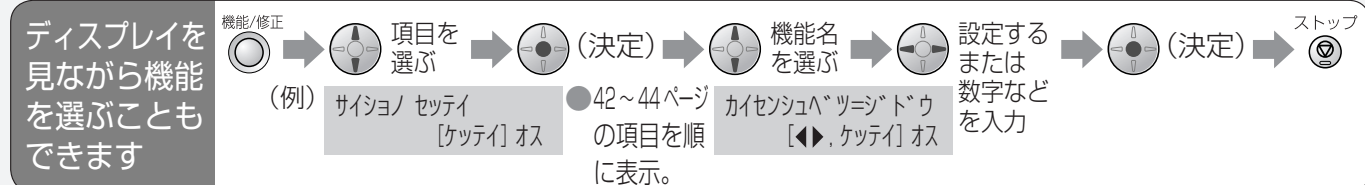
項目はディスプレイの表示を漢字で表記しています。

項目	内容〈機能名〉	コード番号	設定値／設定手順	ページ
その他の設定	別売品のインクフィルムの残量めやすを表示〈フィルム残量表示〉	#098	ｱﾘ（表示する）、[ﾅｼ]（表示しない）（☞ 共通編「インクフィルムを交換する」）	7
	ボタンを押すたびに「ピッ」と鳴らす〈キー確認音〉	#058	[ｱﾘ]（鳴らす）、ﾅｼ（鳴らさない）	–
	3 者通話から電話を回すようにする〈簡単取り次ぎ〉	#068	ｱﾘ、[ﾅｼ]	12
	2 つの電話番号を使う〈モデムダイヤルイン〉	#131	TEL/FAX（電話専用とファクス専用）、ｵﾔｷ / ｺｷ（ファクス親機専用と子機専用）、[ﾅｼ] ● TEL/FAX・ｵﾔｷ / ｺｷ：下 4 ケタを登録。	39
	A4 サイズより長い原稿の下部を次ページにプリント〈分割コピー〉	#091	ｱﾘ、[ﾅｼ]（1 ページで中断）	28
	ドアホンを使わなくなったとき〈ドアホン〉	#160	[ｼﾞﾄﾞｳ]、ﾅｼ（使わなくなったとき）	46
	外出先でドアホンを受ける〈ドアホンワープ〉	#162	[ﾅｼ]、ﾙｽ（留守時）、ｱﾘ（すべて） ● ﾙｽ・ｱﾘ：転送先を登録。	48
	携帯電話への通話料金を選ぶサービスを利用〈選んでケータイ〉	#198	ｱﾘ（事業者識別番号登録）、[ﾅｼ]	15
	IP 電話解除番号を登録する〈IP 電話解除機能〉	#199	ｱﾘ（IP 電話解除番号登録）、[ﾅｼ]	15
	子機を登録する〈子機増設／減設〉	#123	ｹﾞﾝｾﾂ=1、ｿﾞｳｾﾂ=2 （☞ 共通編「子機を増やす（増設）」「子機・カメラ・中継アンテナを使わなくなったとき（減設）」）	–
	中継アンテナを登録する〈中継アンテナ設定〉	#101	ｹﾞﾝｾﾂ=1、ｿﾞｳｾﾂ=2 （☞ 共通編「中継アンテナを設置する（増設）」「子機・カメラ・中継アンテナを使わなくなったとき（減設）」）	–
	すべてお買い上げ時の設定に戻す〈出荷時設定〉	#111	（決定）→ ＊ ····▶（決定）	–

■すべての機能を表示するには　機能/修正 → 「ｽﾍﾞﾃﾉｷﾉｳｦ ﾋｮｳｼﾞ」を選ぶ →（決定）→（選ぶ）

ディスプレイを見ながら機能を選ぶこともできます

機能/修正 → 項目を選ぶ →（決定）→ 機能名を選ぶ → 設定するまたは数字などを入力 →（決定）→ ストップ

（例）ｻｲｼｮﾉ ｾｯﾃｲ ［ｹｯﾃｲ］ｵｽ　●42～44ページの項目を順に表示。　ｶｲｾﾝｼｭﾍﾞﾂ=ｼﾞﾄﾞｳ ［◀▶，ｹｯﾃｲ］ｵｽ

メッセージ一覧

メッセージ一覧

メッセージ ①	呼び出しましたが近くにおりません。ファクシミリをご利用の方は送信してください。 電話の方はおそれいりますが、のちほどおかけ直しください。	25
メッセージ ②	ただいま留守にしております。ファクシミリをご利用の方は送信してください。 電話の方は「ピー」という音に続けてお名前とご用件をお話しください。	30
メッセージ ③	ただいま留守にしております。ファクシミリをご利用の方は送信してください。 電話の方はおそれいりますが、のちほどおかけ直しください。	30
メッセージ ④	ただいま留守にしております。ファクシミリをご利用の方は、おそれいりますが、のちほど おかけ直しください。電話の方は「ピー」という音に続けてお名前とご用件をお話しください。	30
メッセージ ⑤	ただいま留守にしております。おそれいりますが、のちほどおかけ直しください。	30
メッセージ ⑥	あなたの電話番号は通知されていません。 おそれいりますが、電話番号の前に「186」をつけて、おかけ直しください。	35
メッセージ ⑦	公衆電話からはおつなぎできません。おそれいりますが、公衆電話以外から、おかけ直しください。	35

● メッセージ ①～⑦ の選択・変更はできません。

別売のドアホンアダプターを接続して使うとき

別売のドアホンアダプターを接続すると、ファクス親機側でもドアホンに応答することができます。
ドアホンアダプターについては、共通編「ファクス親機でドアホンに応答したいとき」をご覧ください。

ドアホンの呼び出しに応答する

1 「ピンポーン」と鳴ったら
受話器を取り、話す

機能／修正

内線／
文字切替

2 終わったら
受話器を戻す

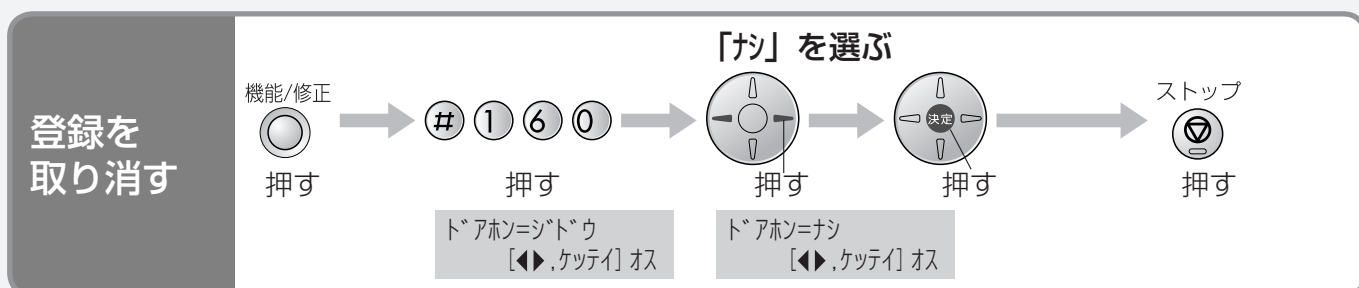
■ドアホンに呼びかけるには

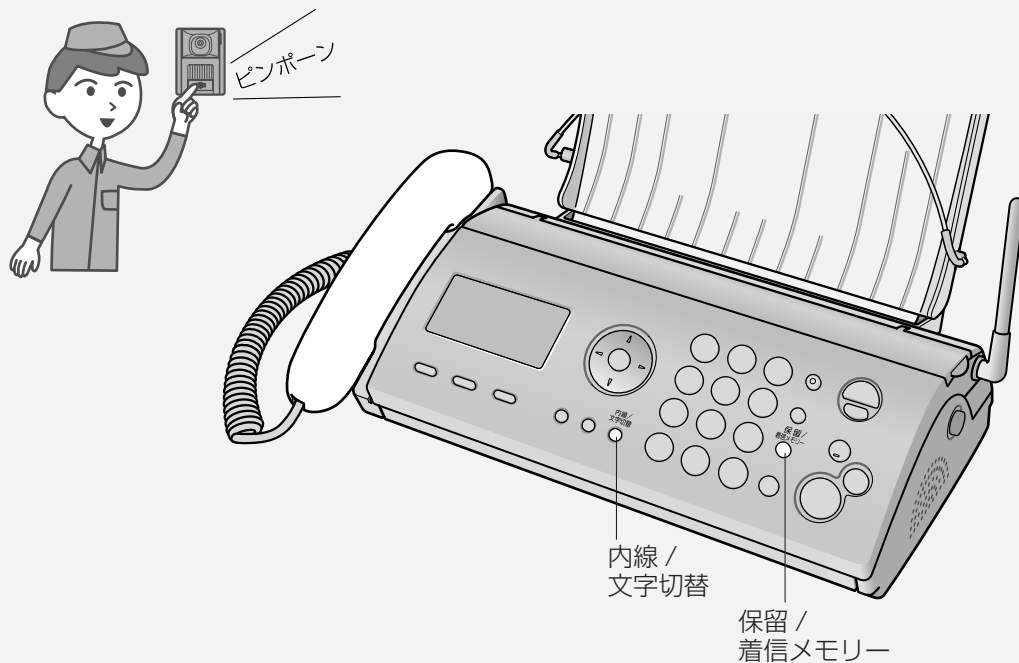
受話器を取り、内線/文字切替 ➡ ⑧（ドアホン 1）

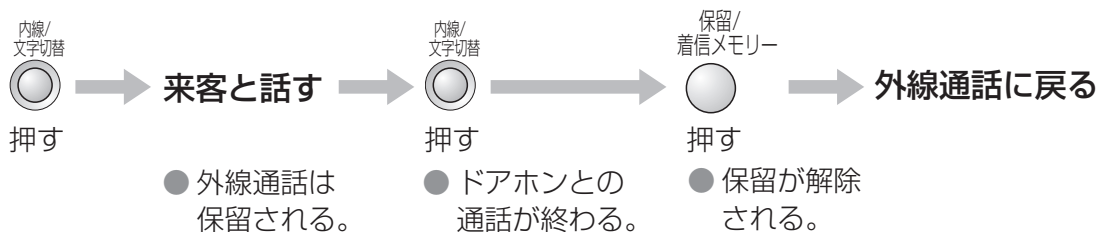
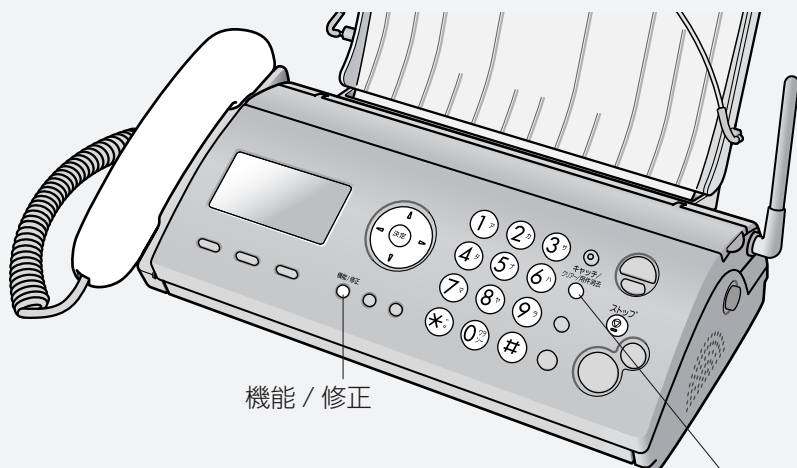
- ドアホンが 2 台接続されている場合は、
  呼びかけできません。

お知らせ

- 次のことは、できません。
  - 先にドアホン親機または子機側が呼び出しに応答した場合のファクス親機での応答。
    （ファクス親機ではドアホンからの着信動作を約 30 秒間継続します）
  - ドアホン・ファクス親機・子機（またはドアホン親機）の 3 者通話。
  - ドアホンとの通話を子機（またはドアホン親機）にまわす。
  - ファクス送受信中のドアホン通話。（ファクス親機の呼出音は鳴ります）
  - ファクス親機でドアホン使用中に、電話をかける、または電話内線通話をする。
  - 留守セット中、来客者の声を録音する。
- ドアホン使用中に外から電話がかかってきたときは、受話器から呼出音が聞こえます。
  電話に出るには：受話器を戻す（ドアホン通話が切れる）➡ 受話器を取る（外の相手と話せる）

■ドアホンを使うのをやめるときは

通話中にドアホンが鳴ったら

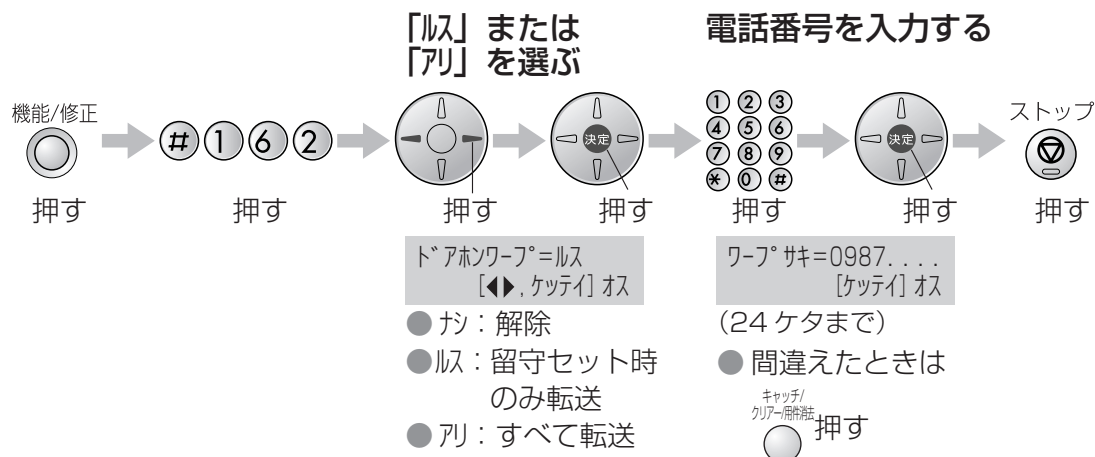
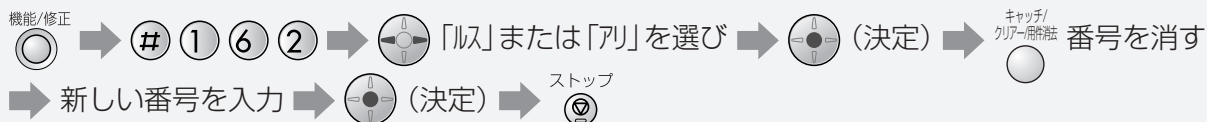
電話内線通話中は通話を終わらせて、ドアホンに出てください。
外線通話中は、外線を保留してドアホンに出ることもできます。

通話を切って出る	電話内線通話中や外線通話中にドアホンが鳴ったら **戻す** → **取る** → **来客と話す**
通話を保留して出る	外線通話中にドアホンが鳴ったら 内線/文字切替 押す → **来客と話す** → 内線/文字切替 押す → 保留/着信メモリー 押す → **外線通話に戻る** ● 外線通話は保留される。 ● ドアホンとの通話が終わる。 ● 保留が解除される。

外出先から ドアホンに出る （ドアホンワープ）

外出先から携帯電話などでドアホンに出るための準備

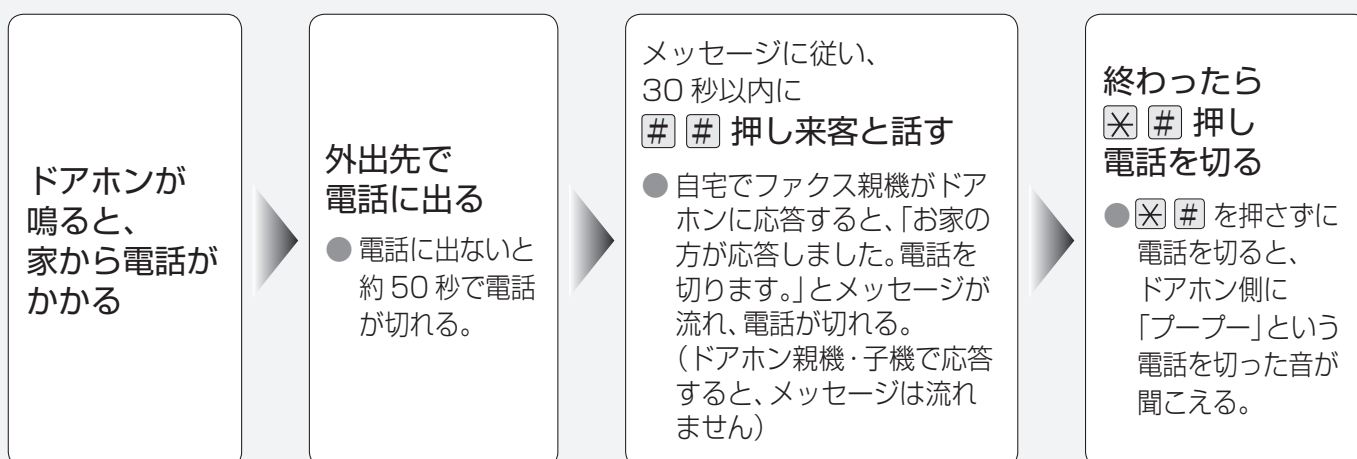
ドアホンからの呼び出しを、自動的に携帯電話などに転送します。

ワープ先（転送先）を登録する

■ワープ先（転送先）を変更するときは

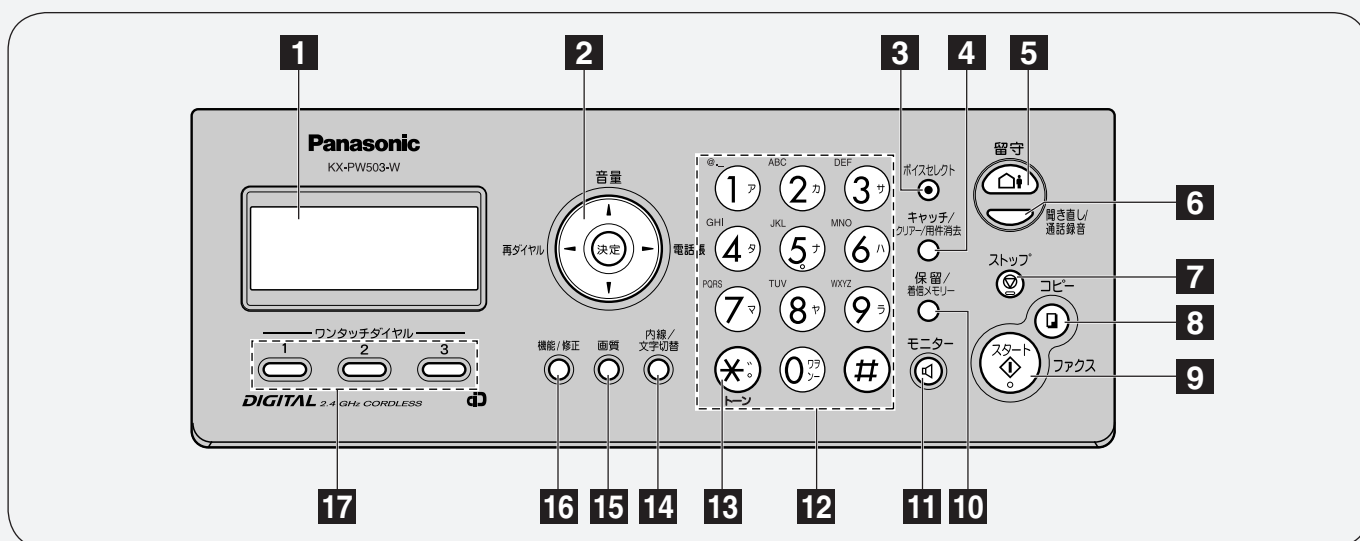
機能/修正 ➡ #162 ➡ 「ルス」または「アリ」を選び ➡ （決定） ➡ キャッチ/クリアー/用件消去 番号を消す ➡ 新しい番号を入力 ➡ （決定） ➡ ストップ

- フリーダイヤルの番号には転送できません。
- トーン信号が出せる電話機に転送してください。

外出先での操作

ドアホンが鳴ると、家から電話がかかる	外出先で電話に出る	メッセージに従い、30 秒以内に # # 押し来客と話す	終わったら ※ # 押し電話を切る
	● 電話に出ないと約 50 秒で電話が切れる。	● 自宅でファクス親機がドアホンに応答すると、「お家の方が応答しました。電話を切ります。」とメッセージが流れ、電話が切れる。（ドアホン親機・子機で応答すると、メッセージは流れません）	● ※ # を押さずに電話を切ると、ドアホン側に「プープー」という電話を切った音が聞こえる。

お知らせ

- 転送するたびに、転送先までの電話料金がかかります。
- 電話回線がプッシュ回線のとき、ドアホン呼出から約 15 秒後に電話がかかってきます。（ダイヤル回線は時間がかかるため、おすすめできません）
- ISDN 回線のときは、ターミナルアダプターのアナログポートは、相手の応答時に極性反転するものを使用してください。（詳しくはターミナルアダプターの各メーカーへ）

Quick Reference Guide

Parts Descriptions

1 Liquid crystal display

2 Navigator/Volume control button

Redial button

Phone book button

Set button

3 Voice Select button

4 Flash/Clear button

5 Auto Answer button & indicator

6 Playback/Call Record button

7 Stop button

8 Copy button

9 Start/Fax button

10 Hold/Caller ID button

11 Monitor button

12 Numeral/Character buttons

13 Tone button (to switch to DTMF tone)

14 Intercom/Text entry mode button

15 Resolution button

16 Function/Edit button

17 One-touch Dial buttons

18 Handset

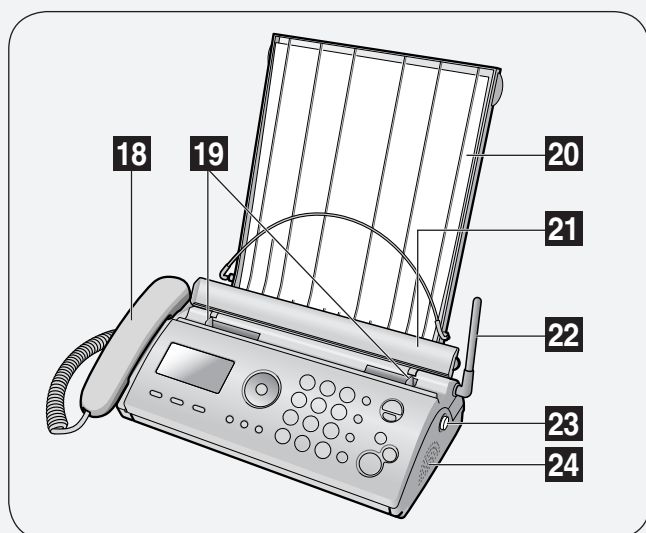
19 Document guides

20 Recording paper cover/tray

21 Document cover

22 Antenna

23 Control panel release button

24 Speaker

■本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスは致しかねます。

■ This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

Basic Operations

● The number after the button shows the location of the button described in the previous page.

■To make a call

Lift the handset. ➔Dial.

■To receive a call

When the phone rings... ➔Lift the handset.

■To place the current call on hold

Press 保留/着信メモリー (10) during a call.

(You can place the handset on the base unit.)

■To retrieve the held call

- If you have returned the handset on the base unit, lift the handset.
- If you have not returned the handset on the base unit, press 保留/着信メモリー again.

■To transfer the held call to the personal phone

Press 内線/文字切替 (14) during a call. (➔When you use multiple personal phones, press ① - ⑥ (Intercom No.).) ➔Place the handset on the base unit when the other party answers.

■To use TAM (Telephone Answering Machine)

When you leave home, press 留守 (5) to turn on the indicator.

(To deactivate, press 留守 again to turn off the indicator.)

➔ When receiving a call while TAM is activated, it answers the call automatically in Japanese, and records the incoming messages.

Then, the 留守 indicator starts flashing.

➔When you return home, press 留守 to play back the messages.

The 留守 indicator turns off and the answering mode is deactivated.

After playing back the messages, press ⊛ to erase the messages or press # to keep the messages.

To play back the message while TAM is deactivated, press 聞き直し/通話録音 (6).

*Up to 50 messages can be recorded for approx. 18 minutes in total.

■To hear recorded messages while away from home (Remote control)

Preparation before you leave home

Store a remote control number.

With the handset placed on the base unit, press

機能/修正 (16) #⓪⓪⑥. ➔Enter the desired 4-digit number. ➔Press 決定 (2), then press ストップ (7).

When you leave home, press 留守 to turn on the indicator.

To hear messages

Dial your home phone number. ➔While the outgoing message is played back...

➔Enter your remote control number.

➔Announcement ➔Press ②. ➔You will hear recorded messages if any.

NOTE

- This operation can be made only from telephones which can send DTMF signals.

■To send faxes

Open the document cover, and adjust the width of the document guides to the size of the document.

➔Insert the document (up to 5 pages) FACE DOWN until a single beep is heard.

➔If necessary, press 画質 (15) repeatedly to select the desired setting. ➔Dial the fax number. ➔Press スタート ファクス (9).

- The unit will start fax transmission.

■To recieve faxes

When you hear the ring, lift the handset to answer the call.

➔When:

— document reception is required,

— a fax calling tone (slow beep) is heard, or

— no sounds is heard,

press スタート ファクス, then replace the handset.

- The unit will start fax reception.

さくいん

A～Z 行

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

Panasonic ファクス親機 KX-PW503 別冊 取扱説明書（ファクス親機操作編）

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
ホームネットワークカンパニー
〒812-8531　福岡市博多区美野島４丁目１番62号

PFQX2309ZA　SC0805MT0